

令和5年度

事業報告書

新砂田保育園

しんほそぐち保育園

ブライト保育園 横浜佐江戸

ブライト保育園 大阪谷町

ブライト保育園 東京入船

ブライト保育園 浦和美園

ブライト保育園 横浜日吉

ブライト保育園 横浜綱島

ブライト保育園 横浜松見町

ブライト保育園 調布仙川

ブライト保育園 福岡高宮

ブライト保育園 福岡東比恵

ブライト保育園 安城桜町

ブライト保育園 名古屋一社

ブライト保育園 大阪歌島

令和5年度新砂田保育園事業報告書

I. 保育所の運営

(1) 定員 120名

(2) 年齢別入所児童数(令和6年3月31日現在)

夢(0歳)	虹(1歳)	月(2歳)	星(3歳)	宙(4歳)	華(5歳)	合計
12名	18名	24名	24名	24名	24名	126名

(3) 職員数

- ・園長 1名 ・主任 1名 ・保育士 13名 ・パート保育士 5名 ・保育補助 2名
- ・調理(栄養士) 2名 ・パート調理 2名
- ・嘱託医 2名(内科 1名・歯科 1名) 計 26名 (令和6年3月31日現在)

(4) 職員会議の開催状況

園の円滑な運営と事業推進のため次の職員会議を行う。

- ・職員会議(毎月) ・クラス会議、給食会議(月1回) ・リーダー会議(月1回)
- ・定例会議(月1回) ・各種委員会会議(随時) など

(5) 研修会、勉強会(人材育成、保育の質の向上)の取り組み状況

保育所ニーズに応え、児童福祉・地域福祉の一層の展開を図るため職員の資質向上は極めて重要であり、上部団体・各種団体の開催する研修会・研究会に積極的に参加。

内部においても毎月の職員会議にて救急講習等を実施し、いざという時の対応訓練を行った。

その他法人として済聖会アカデミーの実施。

(6) 小学校・行政機関との連絡協調

保育所に対する理解を深め、協力、連携を図る。

今年度の幼保小連絡会は、書面と電話で連絡交換会を実施。

小学校の町探検では2年生が保育園内の見学を行った。

II. 保育の実施状況

【法人理念】

関わるすべての人の「ハッピー」の追及

【保育理念】

「園児」の「生きる力」(独り立ちし社会の中で生きていく力)の基盤づくり

<支援したい姿、力>

「自分という存在を肯定的にとらえ、自ら学び・考え、主体的に判断・行動し、よりよく問題を解決する力」

<大事にしたいこと>

就学準備という狭い見方ではなく、広い意味での「人生のための学び」を大切にする

【保育モットー】

「つよく、ゆたかに、キラキラと」

《今年度の園目標、運営目標》

●丁寧な保育

- ① 安心安全な環境作り
- ② 子どもも保護者も安心できる環境作り
- ③ 異年齢児交流を通じて、人と関わる機会を増やし、心の豊かさを育てていく。
- ④ キャパオーバーする前に SOS を発信する。

<園目標実現のための取り組み、意識したこと>

- ・子どもたちと向き合う時間を最優先し、時間と心のゆとりを持って、保育(仕事)を楽しむために今までやっていたことの見直し、軽減を図る。(＊行事、委員会、書類、各種ルール、しくみ など)
- ・職員全員で会議を中心に正常と異常な環境を造りの話し合いを行った。本園の正常と異常を全職員で共通認識にして異常に気付けるようにしていった。
- ・保護者の方に安心して預けてもらえるよう、言葉遣いや所作を丁寧にすることを心掛けた。
- ・ラーニングストーリーを通じて子ども達の「今」を知り、クラス単位ではなく一人ひとりをしっかりと理解するようにした。
- ・園長、主任と現場の中心となる全体リーダー2名を入れて、4名の矢で職員のサポートをし、さらなる風通しの良い園作りを目指した。
- ・園目標→各クラス目標→個人目標という目標の「連鎖」を図り、長期、中期、短期のP-D-C-Aサイクルの意識と実践を行う。また個人目標シートの作成し、園長との面談やすり合せを行った。

Ⅲ. 園運営の状況

(1) 保育時間

午前7時15分～午後7時15分

(延長保育時間 午後6時15分～午後7時15分)

(2) 保育内容

- ・保育所保育指針に基づいた指導計画を作成し、計画的に保育を行うことで、子どもの情緒が安定するような生活環境を作り、それぞれが自己を十分発揮して活動できるよう促していった。
- ・「興育」の考えに重点を置き、より多くの体験、感動から子どもたちが学ぶことを大事にした運営を心がけた。
- ・年齢に応じて保育環境を準備し、基本的な生活習慣を身につけるための介助、言葉かけを行い、自立心を養った。また、遊びの中で集団生活に必要なルールを知らせていった。
- ・外部講師による体操教室やリトミック、英語の指導を受けながら、日々の保育の中で子どもたち一人ひとりが運動や音楽に興味を持ち楽しんで取り組むことができるよう心掛けた。
また、体操教室、リトミックの保護者参観を行い、保護者の方々に子どもたちの成長ぶりや楽しんでいる姿を見て頂く機会を設けた。
- ・恵まれた環境を生かして、園外散歩の機会を増やし、自然を取り入れて遊ぶことで四季の移り変わりを体で感じ、感性を磨くことにつなげることができた。

(3) 外部講師の指導状況

指導内容	指導回数
体操教室	毎週火曜日 年間30回
リトミック教室	隔週木曜日 年間24回
英語教室	毎週水曜日 年間30回

(4) 実施した特別保育事業

延長保育促進事業

(5) 実施した主な行事

別紙「年間行事予定表」参照

Ⅲ. 給食の実施状況（食への取り組み）

- ・市販のものは極力使用せず季節の食材を取り入れた手作りで和食中心の献立を実施した。
（おやつについても手作りにこだわった。）
- ・毎月行われる給食会議や給食時に各クラスへ行き、子どもたちの食べ具合などを考慮し、メニューの改善や食材の幅を広げるなどの工夫を心がけた。
- ・アレルギー児への対応策の改善、改革を常に心がけ、保護者の方との月に1回のアレルギー面談を通じて連携を密にし、子どもにあった提供を行った。
- ・プランターや畑での野菜栽培に取り組み、収穫した野菜を給食の一品にしたり、保育室で観察したりと、様々な食体験を通して食べたいもの、好きなものが増え自然の恵みに感謝する心を育てることができた。
- ・「お弁当箱」の日を設け、持参したお弁当箱に自分自身で盛り付け食べるということを通じて食に関する楽しさを身につけることができた。
- ・給食レシピを配布することにより、家庭での献立や味付けなどの参考にして頂くことができた。
- ・その他、芋ほり、みかん狩り、クッキングの日、お箸の使い方指導、ラッキーベジタブルデーなど、給食室と保育現場メンバーと協力し、知恵を出し合いながら食育への積極的取り組みが行われた。
- ・3月に年長児がまた食べたいと思う給食を献立に取り入れたリクエストメニューを実施した。
- ・離乳食については園と家庭とで連携をとり、一人ひとりの発達に応じた給食提供を行うことができた。

Ⅳ. 子育て支援

- ・個別面談や連絡ノート、普段の会話から育児、食育などに対する保護者の声に耳を傾けアドバイスや励ましを行った。
- ・2年目から実施していた「すくすくの会」は新型コロナウイルス感染症防止のため、今年度も中止した。

Ⅴ. 健康管理の実施状況

(1) 児童

① 小児科

年2回（9月、3月）園嘱託医による健康診断を実施した。

② 歯科

6月に園嘱託歯科医による歯科検診を実施した。

(2) 職員

① 定期健康診断

年1回、健康診断を全職員に実施した。

② 検便

毎月、専門業者に依頼し「赤痢・サルモネラ菌」「病原性大腸菌」の検査を全職員に実施した。

10月～3月は対象職員に「ノロウイルス」の検査も実施した。

VI. 非常災害危険防止の実施状況

(1) 避難・消火・通報訓練

月1回、いろいろな場所からの出火を想定して避難・消火・通報訓練を実施した。
また地震を想定した防災訓練も実施した。

(2) 防犯訓練

年間3回に分けて不審者出現を想定した防犯訓練を設置してある防犯用道具、110番通報装置を用いて行った。
不審者園内侵入など考え得る様々な場面、シーンを想定してのより実践的な不審者訓練を実施した。
また姉妹園のしんほそぐち保育園と連携を取り、それぞれの園にて不審者役になり訓練を行った。

VII. 地域交流など

- 地元小学生の「町探検」の受け入れ
- 介護施設プレゼント交換

令和5年度しんほそぐち保育園事業報告書

保育理念・方針・目標

【保育理念】子どもたちの「生きる力」（独り立ちし社会の中で生きていく力）の基盤づくりを支援する

【基本方針】アタマ・ココロ・カラダを育む三位一体興育（興味・体験・感動・気づき）

1. 子どもたちの興味を引き出すより多くの機会を提供する
2. 子どもの思いを受け止める
3. 子どもが自分で経験することを大切にする
4. 子どもが自分で考え工夫することを大切にする
5. 子どもが自分で気づくように言葉かけをする

【保育モットー】「つよく ゆたかに キラキラと」をモットーとしています

「つよく」*我慢強さ、打たれ強さ、諦めない気持ち、負けない強さ（健全なる競争心）

*健康増進、健康な体づくり

*自分で考え、自分で行動する、常にプラス思考

「ゆたかに」*心の豊かさ、豊かなコミュニケーション、創造性の豊かさ、豊かな感性を育てる

「キラキラと」*ココロの輝き

*何か一つでも好きで夢中になれるものを見だし、探究心・持続力・集中力を養い、自分に対して自信を持って輝いている

1・保育園の運営

(1) 定員 60名

(2) 年齢別入所児童数（令和6年3月31日園児数）

	つばめ (0歳)	こだま (1歳)	ひかり (2歳)	あさひ (3歳)	のぞみ (4歳)	のぞみ (5歳)
定員	6	12	12	10	10	10
在籍数	6	12	12	11	12	12

(3) 職員数

・園長 1名 主任 1名 保育士 12名 ・管理栄養士 2名

・保育補助 2名

・体操教室講師（外部） 1名 英語教室講師（外部） 1名

・委託医 2名（内科 1名・歯科 1名） 計22名（令和6年3月31日現在）

(4) 職員会議・その他会議の開催状況

・定例職員会議（月1回実施）

各クラスより、クラス状況報告（事前会議シート配布・他追加事項の報告のみ）

委員会活動、係より報告事項

議題に沿って進行（時間の短縮、効率的に議題によっては各自の意見を事前に提出、まと

めを会議中に行う)

子ども達が落ち着いた時期を見計らい、会議の時間帯を夕刻から日中に変更。(4月のみ、夕刻)

- ・リーダー会議(基本、月1回実施)議題が無い場合は無し。

議題により、参加者は様々。若手職員にも、発言力を生かす機会とし、会議を行っていった。また、限られた人数の参加になる為、事前に議題に沿った各自の意見を収集しまとめていった。

- ・クラス会議(月1回実施)

保育の振り返り、子どもの様子、次月の課題、行事に関する事など、しっかりと確認し進めていった。必用に応じて、主任も参加。クラス内の問題点や課題等を担任保育士と話し合ったり助言したりし、より良いクラス運営に繋がるようにしていった。

- ・給食会議(月1回実施)

先月の振り返り、次月の計画、確認事項をしっかりと行った。

済聖会給食会議で決定したことの中で、園全体に係ることはその都度、給食先生より職員に発信し、全職員周知できるようにした。

- ・その他

委員会、係りの活動を一覧表にして見える化したことにより、それぞれが確認しながら声掛けし、進めていくことができた。

- ・園の運営、その他職員育成等、その都度、主任・園長で話し合う機会を多く設けていった。

(5) 研修会、勉強会の取り組み状況

- ・ZOOM研修、外部研修共に予定通り参加することが出来た。

以前受講した外部研修の中で良かった研修を再受講。職員全員が把握し、保育に落とし込む。

名古屋市主催の研修は、研修概要をそれぞれが把握し、自己申告制を取り、自身が必要とする研修を受講できるようにした。また、キャリアステージに合せた研修講座(ZOOM)に参加し、それぞれの分野で学んだことを実践し、継続していく。

*月1回の職員会議で研修報告有

- ・常勤、非常勤を含み、3グループに分かれAED講習、エピペン研修、SIDS研修を毎月1回実施した。各回、グループで事故事例を想定し、役割分担を行いながら進めていった。
- ・済聖会年齢別勉強会に園代表で1名参加。「安心安全な保育」「子ども主体の保育」を軸に、自園の保育紹介を各クラスから提示してもらい、会議で発表。また会議で得た情報は職員にも提示し、職員会議等で話し合う機会を設けていった。

2. 令和5年度 園目標・運営方針

<園目標・方針>

- ・安全管理、安全教育の徹底
- ・「保護者の安心」への構築
- ・子どもの行動の裏にあるものを読み取る力を養う
- ・協働力を養う

<園目標・運営方針への取り組みについて>

- ・行政の協力を得て、交通難全指導や不審者訓練を行った。また、職員配置を変更し、普段と違うクラスでの災害への対策等、職員間で経験を重ねた。
- ・公園の遊具が新しくなった際は、危険個所や遊び方を職員間で話し合い、共通認識を持って安全に活動出来るようにしていった。
- ・職種に捉われることなく、保護者対応を丁寧に行うことで、それぞれの専門分野を活かすことが出来た。
- ・定期的に自分の保育をふり返り、子どもの姿に関するエピソードを職員間で語り合うことが出来た。
- ・職員全員で受講した研修を保育に落とし込めるよう、クラス内で話し合い、まとめを発表しながら、無理なく取り組んでいった。
- ・職員各自の意見が発信しやすいよう雰囲気作りを行い、チーム力の向上につながっている。
- ・ミドルリーダーに協力を得て、若手職員の育成に向け話し合う場を設けることが出来た。

3. 保育実施状況

(1) 保育時間

午前7時～午後7時（月～土）

(2) 保育内容

- ・ホームページによる、園内見学のご案内を定期的に行った。
- ・Facebookにて、保育の様子を発信。(Facebook 利用者以外も閲覧できるよう園内に掲示) 日々の保育内容を保護者、外部の方や園見学の方に知ってもらうことができた。
- ・乳児、幼児共に限られた時間内で個人懇談会を実施し、保護者と子どもの育ちを共有し、連携を図った。
- ・子どもたちの「生きる力を育む」について、各クラス振り返りを行い、年度途中でクラスだよりに掲載。保護者対象とした、子どもの発達を理解することへと繋げていった。
- ・3、4、5歳児クラスにて体操教室の実施により、体を動かす楽しさを感じ、味わう事ができた。また、体操参観を設け、希望者のみ、限られた時間内で子どもの体操教室への取り組みを観ていただいた。(※)
- ・3、4、5歳児クラスにてNOVA英会話教室を実施。外国人講師と楽しく簡単な英語に触れながら無理なく進めていった。(※)
- ・名古屋市消防局主催による「おもちゃ花火教室」に年長児参加。
花火の正しい遊び方を学んだ。
- ・各クラス子どもの成長段階に合せ、環境の見直しを徹底し、物の配置や子どもが十分に遊びこめる環境作りを定期的に行った。

(※) 外部講師の指導状況

指導内容	指導回数
体操教室	毎週火曜日 年間30回
体操参観	年2回 11月に実施
英語教室	毎週金曜日 年間30回

(3) 給食・食育への取り組み

- ・離乳食は「たべたよノート」を元に、保護者と連携を図り、個々の成長に合わせて移行していった。また、進まない園児に対しては、担任保育士より定期的にお声掛けし、子どもの食の大切さを丁寧に伝えていった。
- ・各クラスの保育士が月齢に合わせた食育の提案をし、栄養士と連携を図り、食育活動を行った。
- ・クッキングでは、作る楽しみを知り、食への関心を深めていった。
- ・自園栽培にて野菜栽培、稲作りに取り組み、収穫までの工程を子ども達自らが体験し、様々な食材に触れ、生長を間近で感じることで食への感謝と自然への興味につなげていくことが出来た。
- ・基本的に和食中心とし、洋食、中華などバラエティに富んだメニューの実施、また誕生会や季節のメニュー、世界の料理、行事食等を取り入れ、四季と文化を五感で感じられるような工夫を行った。
- ・月1度「お弁当の日」を設け、家庭から持参したお弁当箱に職員が盛り付け、食への意欲、関心へと繋げ、行事の季節によりアレンジを加え実施（年間計画10回）
- ・食物アレルギー児への対応では、代替え食での対応。保護者、保育士、栄養士の3者で連携を取り、徹底した管理を行い、引き続き誤食、誤飲ゼロで一年過ごすことが出来た。
- ・箸の正しい使い方について遊びを交えながら学べる工夫をした。食事のマナーは保育士を中心とし、各年齢に合わせての導入方法で行っていった。
- ・季節に合わせたPOPづくりを行い、子ども達が食に関して興味を持てるよう貼り出しを行った。また、親子でのコミュニケーションにもつながっていた。
- ・カレーの具コンテストでは、どういった食材が合うのかを子ども達自らが考え、料理には様々な食材が使われていることを知る機会を設けることが出来た。
- ・味噌作りでは、味噌の変化を定期的に子ども達が見られるよう、1階にディスプレイした。

(4) 職員体制、職員育成への取り組み

- ・0歳児入所がゆっくりだったため、夏頃まで0,1歳児クラスが手厚く落ち着いて過ごすことが出来た。逆に定員数を満たしてからは、月齢差も大きいことから職員の手確保に苦戦することが多かった。
- ・年度の後半に職員数が減り、厳しい状況にもなったが、昨年度の経験を活かし、保育と日々の業務を無理なく潤滑に進めていくことができた。
- ・委員会活動や係の仕事分担は一覧表にして掲示することにより、全職員が把握し、皆で協力しながら行うことが出来た。
- ・自己啓発活動表（個々の目標を明確にし、スキルアップのための計画、実行、評価、改善を行う）を用いて、園目標から個々の目標を立て、前期、後期、1年の振り返りを行った。（職員面談にて共有）
課題が明確になる事で、意識しながら保育を進めていくことが出来た。また、自分の気づき、他者からの気づきを知ることにより、新たな課題に繋げることが出来た。

(5) 安心、安全対策、防災関係

- ・園内の危険箇所、散歩コース、公園内の危険箇所（遊具対象年齢・使い方）見直しを行った。公園の遊具が新しくなった場合には、職員会で話し合いを行い、遊具の使用有無や遊び方の共通理解を図った。

- ・危険に繋がる事への危険予知力向上のため、引き続き、気づきのメモを行い、各自の気づきを全職員周知し、子どもの安全に努めていった。
- ・園長又は主任が朝の点呼を行い、出席状況を確認、WBにて掲示。全職員が把握できるようにしていった。連絡無しで登園していない園児は、園から保護者へ連絡を入れ、園の取り組みへの理解を保護者に伝えた。
- ・午睡時間は、定期的に見回り、子どもの体制等気を付けることを職員に再度声掛けし、安全な環境下で子ども達の午睡時間の確保を行っていくようにした。
- ・避難訓練、不審者訓練共に様々な訓練を想定して行い、自分の身は自分で守ることを学んだ。また、不審者訓練では、予め決められた日程以外で訓練を行う日を設け、職員皆で振り返りを行い、職員一人ひとりの危機管理能力の向上につながるようにした。
- ・9月総合避難訓練では、避難食の実施、提供を行った（災害時の炊き出し方法）また、新聞紙の紙皿を実践。
- ・避難訓練では、年度の後半で他クラスの職員と配置を入れ替わり、訓練を行う日も取り入れた。
- ・交通安全指導、不審者訓練共に自治体の協力を得て、防災教育を行った。
- ・不適切な保育の未然防止に向けて、年度途中の職員面談で子どもの人権尊重について個々に話し合い、保育士として適切な態度で勤務に就くことを改めて伝えていった。
- ・子ども達を守る為に、状況により保護者と連携を図っていった。（駐車場・施設内・園庭）
- ・他園の事故報告書を全職員周知し、より、安心安全保育への意識を高めていった。
- ・緊急時における園児の安全確保として、保護者と連携をスムーズに行うための訓練を実施した。
- ・赤い羽根共同基金を利用し、施設内の修繕（床の貼り替え・2階トイレ増設・隙間フェンス設置）を行い、子ども達が安全に生活できる環境へと整えた。

(6) 健康管理の実施状況

1. 児童

- ・年2回 内科健診実施（3月・9月）
- ・6月 歯科健診実施
- ・毎月身体測定を実施し、保護者へ報告

2. 職員

- ・定期健診診断（年1回全職員対象に実施）
- ・検便（月1回赤痢・サルモネラ菌・ノロウィルス・病原性大腸菌検査の実施）
- ・インフルエンザ接種の実施

(7) 地域交流

- ・外部地域子育て支援「きらきらの会」は今年度も中止。
- ・小学校 PTA 主催、安全駆け込みステッカーの貼り出し。園の子ども達の安全を守ると共に、地域の子供達の安全を守る事への協力を行う。
朝、夕刻の保護者駐車場が込み合う時間帯には駐車場整備に出て、近隣住民の方への配慮、挨拶運動を行い、地域の方や子ども達への声掛けを行った。また、課外教室実施終了時間帯は、職員で連携を図り駐車場対応に努めた。
- ・就学児童受け入れ校との連携を図る為、近隣施設との交流を行った。（名古屋市立鳴海東部小学校）小学校に就学する意欲が高まり、年長児にとってとても良い機会となった。
- ・幼保小連絡懇談会は、特に設けず、年長児の就学先へ必要に応じて電話連絡を行った。

●年間スケジュール

(4月～9月)

月	行事	保護者参加行事
4月	1日(土) 入園式 3日(月)～7日(金) 慣らし保育 3日(月) 始業式 12日(水) 誕生会 20日(木) 避難訓練	
5月	1日(月) 衣替え 17日(水) 誕生会 18日(木) 避難訓練 25日(木) 不審者対策訓練	12日(金) 親子遠足(3～5歳児) ※0～2歳は通常保育 個人懇談会 2歳児 31日(水)～6月2日(金)
6月	8日(木) 歯科健診 14日(水) 誕生会 22日(木) 避難訓練 29日(木) プラネタリウム見学 (5歳児)	個人懇談会 0歳児 5日(月) 6日(火) 1歳 7日(水)～9日(金) 17日(土) 保育参観(3～5歳児)
7月	3日(金) 水遊び開始 午睡開始(4・5歳児) 7日(木) 七夕会・誕生会 13日(木) 避難訓練 22日(土) 夏のお楽しみ会(5歳児)	
8月	10日(木)～17日(木) 希望保育 23日(水) 誕生会 24日(木) 避難訓練 31日(水) 水遊び終了 午睡終了(4,5歳児)	
9月	1日(金) 総合避難訓練 7日(木) 内科健診 13日(水) 誕生会	

(10月～3月)

月	行事	保護者参加行事
10月	2日(月) 衣替え 11日(水) 誕生会 12日(木) 避難訓練 26日(木) 不審者対策訓練	21日(土) 運動会 午前：乳児クラス 午後：幼児クラス開催
11月	8日(水) 誕生会 16日(木) 避難訓練 17日(金)～22日(水) 乳児作品展 22日(水)～28日(火) 幼児作品展 24日(金) 県民の日ホリデー	7日・14日(火) 体操教室参観(3～5歳) ※自由参加 18日(土) 保育参観(0,1,2歳児) 個人懇談会 3歳 29日(水)～12月1日(金)
12月	9日(土) 避難訓練 22日(金) クリスマス会・誕生会 23日(土)～28日(木) 希望保育 29日(金)～31日(日) 年末休園	個人懇談会 4・5歳 4日(月)～8日(金)
1月	1日(月)～3日(水) 年始休園 4日(木)～6日(土) 希望保育 11日(木) 避難訓練 17日(水) 誕生会 25日(木) →2月6日(火) 不審者訓練	
2月	2日(金) 節分 13日(火) 保育まつり(5歳児) 16日(金) 引き渡し訓練 21日(水) 誕生会 29日(木) 避難訓練	17日(土) 生活発表会 (1～5歳児)
3月	1日(金) ひな祭り会・誕生会 7日(木) 避難訓練 14日(木) →12日(火) 内科健診 18日(月) お別れ会 21日(木) お別れ遠足(3～5歳児) 25日(月)～30日(土) 希望保育	23日(土) 卒園式(5歳児のみ)

令和5年度 事業報告書

ブライイト保育園 横浜佐江戸

1. 保育園の概要

(1) 所在地：横浜市都筑区佐江戸町 2089-1

(2) 定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
6	8	10	12	12	12	60

(3) 令和5年度の園児数 (3月末時点)

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
5	8	9	11	12	13	58

(4) 職員数 (3月末時点)

役職	園長	主任	保育士	保育補助	事務	調理師	栄養士	嘱託医	合計
常勤	1	1	11			1	1		14
非常勤			7	0	1	1		2	11

(5) 事業年度 1

令和5年4月1日～令和6年3月31日

(6) 開園時

平日 7:00～20:00

土曜日 7:00～18:00

(7) 職員会議

会議名	出席者	頻度
午後	クラスと調理室から1名	毎日
職員会議	正職員	月1回
非常勤職員	園長、主任、非常勤	年1回
運営	園長、主任	随時
リーダー	園長、主任、乳・幼児リーダー	月1回
係	担当	随時

行事	担当	随時
乳児会議	主任、リーダー、乳児担任	月1回
幼児会議	主任、リーダー、幼児担任	月1回
給食会議	正職員	月1回
園内研修	全職員	随時

(8) 人材育成、保育の質向上の取り組み

研修に参加し、キャリアアップを目指す。スキルに応じて役割をつける。
研修に参加したが、保育に活かすまではできなかった。

(9) 小学校、行政、地域との連携

都田西小学校との年長交流、幼保小との研修参加、療育利用児についての情報交換など連携が取れるようにする。

町内会と連携を取り、地域との交流を深める。(子育て支援)

行政との情報交換はこまめに行った

2. 保育目標

子どもたちの生きる力の基盤を作る

3. 今年度の重点的な取り組み

基本的な事(園での決まり)からの見直し、情報の共有の徹底を行うことでひとり一人のスキルアップにつなげる。

社会人としての意識付け

社会人としての意識付けは継続が必要と考える。

【ブライツ保育園大阪谷町 令和5年度 事業報告書】

1. 保育所の運営

(1) 定員 70名

(2) 年齢別入所児童数（令和3年2月1日現在）

夢（0歳）	虹（1歳）	月（2歳）	星（3歳）	宙（4歳）	華（5歳）	合計
8名	12名	12名	15名	16名	15名	78名

(3) 職員数

- ・園長（1名） ・主任（1名） ・保育士（10名）
・パート保育士（6名） ・支援員（0名） ・保育補助（0名）
- ・調理（管理栄養士）2名 ・パート調理士（2名）
- ・嘱託医（内科1名・歯科1名） 計 22名（令和5年3月1日現在）

(4) 職員会議の開催状況

園の円滑な運営と事業推進の為、随時必要な会議を執り行う。

- ・職員会議（毎月） ・給食会議（毎月） ・行事会議（諸行事前後）
- ・ミーティング（1/週） ・月案会議（各クラス毎月） ・乳・幼児部会（毎月）

(5) 研修会、勉強会（人材育成、保育の質の向上）のための取組み状況

- ・各種団体の開催する研修会への参加
 - 「気になる子どものはったつと特性の理解」
 - 「子どもの育ちを支える 0～2歳児の運動遊びとは」
 - 「より良い関係を築くコミュニケーション 新人研修」
 - 「食物アレルギーについて」
 - 「コミュニケーション能力のUP 主任研修」
 - 「子どもが主体的に遊ぶためには」
 - 「保育の質と主任保育士の役割について」
 - 「食品衛生講習」
 - 「幼児保育 主体的な遊びを支える保育環境」
 - 「食物アレルギー対応について」
 - 「育ち合う関係づくりを考える」
 - 「感染症とその対応について」
 - 「マネジメント力とリーダーの人間力の向上を目指して」
 - 「特定給食講演会」
 - 「保育リーダー研修」
 - 「家庭支援の必要性」
 - 「乳児保育研修」

「事例検討 ～自園の課題や職員間のエピソードを中心に～」

「生きる力を育む保育」

「フォローアップ研修」

「乳幼児が楽しく体を動かすために」

以上の研修については、毎月の職員会議において研修報告をし、職員全員が共に学ぶ場を設けた。

・園内研修（園内公開保育）

日々の保育を職員同士が見せ合う事で、お互いの良さ、今後の課題等を確認し、今後の保育の向上に繋いで行く。

2. 安全管理・防災・防犯

（1）避難訓練

火災・地震時の緊急避難の訓練を、時間帯・曜日等々変えながら実施。

当初、階段での避難が恐くて泣く子どもも多かったが、回を重ねる毎に慣れ、落ち着いて取り組めるようになって来ている。

第二次避難場所（TSK ビル横空地）、第三次避難場所（中大江公園）までの避難の練習や、消防署より水消火器をお借りして、実際の消火器の使い方を職員が子ども達に見せ、使用法・使用目的を知らせる。

（2）不審者対策訓練

警察の防犯担当者にお越し頂き、当園での対策についてご指導頂く事で、日頃から職員が何に気を付け、どう行動するべきかが見えてきた。

3. 処遇

（1）保育時間

午前 7 時 00 分～午後 7 時 00 分

（延長保育時間 午後 6 時 00 分～午後 7 時 00 分）

（2）保育内容

新型コロナウイルス感染症が 5 類に引き下げられ園行事なども感染に留意しつつも例年通り行えるようになり、園児・保護者にも活気が感じられた 1 年となった。

保育園は人格の基礎部分の安定を培う場であり、子ども達の健康・発達の保障を委ねられていると考える。保育士は子ども達の年齢の発達の特徴を深く知る事、その上で一人ひとりの発達のペースを守って行くことが必要であると感じ、職員間で話をしつつ日々の保育を進めてきた。

集団の中に 10 時間以上居る子ども達も多く、生活体験の乏しい子ども達に、保育園で様々な生活を保障することも大きな重要な点として取り組んできた。

3 歳・4 歳・5 歳（幼児）のクラスでは、年齢に応じた粗大運動も取り入れつつ、

リズムの模倣、身体を動かす体操の時間を設け、また英語活動も引き続き取り入れた。

0歳・1歳・2歳（乳児）は育児担当制保育で、子ども達一人一人の発達や課題を細部にわたり理解し、必要な関わりや手立てをもって計画的に保育を進め、また、幼児3クラスは課外授業の英会話教室や体操教室も引き続き継続し、子どもの育ちにとっても保護者にとってもまた保育士のスキルアップも含めた保育との両立を更に検討していきたい。

(3) 実施した特別保育事業

延長保育促進事業・特別支援保育

(4) 実施した主な行事

別紙「年間行事予定表」参照

3. 給食の実施状況

- ・手作りにこだわり、季節・行事を感じられる和食中心の献立を実施した。
- ・給食で食べた野菜（人参・大根・さつまいも・じゃがいも）の切り落とし部分を水栽培し、葉の成長を観察する事で、素材への興味・関心を育てる。
- ・アレルギー児には豆乳・マヨドレ等々を使用することで、他児と同じ物が食べられる喜びを感じ、食べる事への意欲に繋いで欲しいと願っている。
- ・献立表・給食だよりを月1回発行

4. 子育て支援・保護者支援

- ・乳児には離乳食の進め方等、保護者・担任・栄養士と一緒に話し合い、進めて行った。家庭で提供している物が、子どもの成長に応じた物なのかどうかもアドバイスした。時には離乳食の段階を戻し、子どもの食への意欲を高めて行ける様にする。
 - ・保育参観・懇談・各行事を通して、子ども達の小さいが確実な成長を保護者に伝え、成長の喜びを共有するようにした。乳児クラスの保育体験が好評で来年度も継続する。職員間でもクラスを越え、子ども達の変化を話、担任でなくても気付いたトピックを保護者に伝えるようにした。
- 職員皆が子どもの姿を見ているという安心感を抱いて頂けたらと思っている。

5. 健康管理の実施状況

(1) 児童

① 小児科検診

年2回（7月、11月）園囑託医による健康診断を実施した。

② 歯科検診

年1回 7月 園囑託歯科医による歯科検診を実施した。

(2) 職員

① 定期健康診断

年 1 回 全職員健康診断を実施した。

② 検便

毎月「赤痢・サルモネラ菌」「病原性大腸菌」

10月より「ノロウイルス」の検査も追加し、専門業者に依頼し実施。

【ブライト保育園東京入船 令和5年度事業報告】

1. 保育所の運営

(1) 定員 40名

(2) 年齢別入所児童数（令和6年3月1日現在）

虹（1歳）	月（2歳）	星（3歳）	宙（4歳）	華（5歳）	合計
8名	5名	5名	5名	4名	27名

(3) 職員数

- ・園長…1名
- ・保育士…4名
- ・パート保育士…2名
- ・調理（栄養士）…2名
- ・パート調理（栄養士）…1名
- ・嘱託医（内科）…1名

(4) 職員会議の開催状況

園の円滑な運営と事業推進の為、随時必要な会議を執り行う。

- ・職員会議…毎月
- ・給食会議、献立会議…毎月
- ・行事会議…諸行事前後
- ・昼ミーティング…週1回

(5) 研修会、勉強会（人材育成、保育の質の向上）のための取り組み状況

- ・保育勉強会
全職員が発達を学び理解を深め、年齢に応じた適切で安全な質の高い保育を提供する1回目（6・19）
2回目（9・4）
3回目（12・11）
4回目（2・19）
- ・発達から子どもの育ちを考えてみよう（9・13）
- ・AED研修会（10・18）

(6) 進級説明会の実施

各クラス順次「保護者面談」と併せて実施。

2. 安全管理・防災・防犯

(1) 避難訓練

火災・地震時の緊急避難の訓練を、時間帯・曜日等々変えながら実施。消防署員にも園内に入って頂き、実際の訓練の様子を確認していただく。その上で、アドバイスを頂いたり、園外での消火訓練の実施等を通してより一層、職員が安全に関する意識を強める事ができた。

また、地震に伴う津波警報が出た時の対応についても見直し、垂直避難をするために、ビルの上層階のテナントに避難をさせてもらえるように話をし、避難時の受け入れの許可を頂いた。

今後も継続的に訓練を行っていく予定でいる。

(2) 不審者対策訓練

玄関に不審者が現れたとの設定で、職員が対応訓練を行う。その間園児は他の職員の誘導で外階段より戸外へと脱出する。避難経路も普段通らない不審者が外に出てきても目につきにくい道を選び避難をした。

※ビルインの入船の避難路は玄関と外階段の2か所だが、2方向避難をすると合流をするまでの数分間、お互いが全く見えず、何かあってもヘルプに行くべきかの判断がつけにくい。その様な時の職員間の連絡ツールとして「トランシーバー」を購入した。普段から慣れる為に、また、どこまで電波が届くかの確認の為に散歩時携帯し各職員が使えるように練習をしている。

3. 処遇

(1) 保育時間

午前7時30分～午後7時30分

(延長保育時間 午後6時30分～午後7時30分)

(2) 保育内容

コロナが5類へと移行した事に伴い、コロナ前の通常保育に戻して保育をしていった。

運動会、発表会は、祖父母も応援に来て競技に参加したりして盛り上がり、子ども達も嬉しそうにしていた。実際にみていただく事で保護者の反応を肌で感じ、子どもなりに感じる物があり良い経験となった。

夏祭りは、初の試みとして、地域の方にも広くお声がけをして、在園児と一緒に踊ったりゲームをし、控えめながら交流をしたり、楽しさを共有することができた。事後のアンケートでは、来年度も期待する声が聞かれた。

幼児クラスは地域との交流にも積極的に参加をした。町内会のクリーンデー、防災デー、火の用心の声掛けに参加をしたり、小学校や区内保育園、幼稚園との交流の場には積極的に参加をすることで、周囲との繋がりや、少人数ではできない遊びをするダイナミックさを経験できた。

リトミックの指導者がいなくなり、リトミックは出来ないものの音楽や楽器に触れる機会は持てるように「音楽を楽しむ会」を実施した。今回は触れる・楽しむが目的だったが今後改良し、より音楽としての体験を深めていけるようにしたい。異年齢保育を行う中で、各学年に合わせた活動をしていく難しさもあるが、子ども同士で自然に補い合う姿、年長児のすることを見て真似し挑戦する姿が見られた。また、個々の興味や習得具合に応じた取り組みをしても異年齢であることで「出来ない」という劣等感を持たずに取り組み、出来た時には、年少児に「すごい」といってもらうことで、達成感を持つこともできたのはよかった。今後も異年齢での取り組みに力を入れていってきたい。

(3) 実施した特別保育事業
延長保育促進事業

(4) 実施した主な行事
別紙「年間行事予定表」参照

4. 給食の実施状況

- 手作りにこだわり、季節・行事を感じられる和食中心の献立を実施した。
- アレルギー児には、豆乳・マヨドレ等々を使用することで、また、パンはアレルギーの無い子と一緒に食べられるアレルゲンの無い物を探しメニューによって取り入れていくことで、他児と同じ物が食べられる喜びを感じ、食べる事への意欲に繋いで欲しいと願い導入を実施した。
- 特に乳児は、園での給食の姿を保護者に見て頂く事で、家庭との違いや友だちと共に食べる楽しい雰囲気等を感じて頂けた。
保護者には、試食も一口ずつ召し上がって頂き、薄味が子ども達の健康の為に大切であることも伝えられた。食具や姿勢についても細かくお伝えする事で「なるほど」と気付いて、家庭でも取り組んでみようとする保護者の姿も見られた。
- 献立表、給食だよりを月1回発行。
- 「今日の給食」の写真を毎日掲示。
特に乳児保護者に向けて、使用している食材の大きさや、取り入れることでどのような面の成長が期待できるかの解説も随時記載し、希望のあった保護者の相談にもものっていた。

5. 子育て支援・保護者支援

- 昨年に引き続き、2歳児クラスに育児困難なご家庭のお子様が入所しており、児童相談所、子ども家庭支援センター「きらら」、中央区と定期的に連携をとりケース会議2回、状況提供書の提出を毎月おこなってきた。送迎時も保護者の様子を確認すると共に、保護者が安心して話ができるように担任と園長が主で対応するなど、子どもの安全の為、保護者のストレス軽減のための対応をした。
- 1歳児クラスに育児に援助が必要なご家庭のお子様が入所し、子ども家庭支援センター「きらら」との関りを密にしながら、保護者との関係を築くように努めた。子ども家庭支援センター「きらら」、中央区と定期的に連携をとり送迎時も保護者の様子を確認すると共に、保護者が安心して話ができるように担任と園長が主で対応するなど、子どもの安全の為、保護者のストレス軽減のための対応をした。
- 保護者参観・各行事を通して、子どもたちの小さいが、確実な成長を保護者に伝え、成長の喜びを共有するようにした。職員間でもクラスを越え、子どもたちの変化を話し、担任でなくても気付いたトピックスを保護者に伝えるようにした。職員全員が、子ども達の姿を見ているという安心感を保護者にも、子どもにも感じてもらえたらと願っている。

6. 健康管理の実施状況

(1) 児童

① 小児科検診

1歳児 毎月1回 園嘱託医による健康診断を実施

2歳児～5歳児 年3回 園嘱託医による健康診断を実施

② 歯科検診

年2回（6月・11月） 歯科医による歯科検診を実施

(2) 職員

① 定期健康診断

年1回 全職員健康診断を実施

② 検便

毎月「赤痢・サルモネラ菌」「病原性大腸菌」

10月より「ノロウイルス」の検査も追加し、専門業者に依頼し実施

令和5年度

年間予定表

ブライト保育園東京入船

園内会議		懇談会(幼児)		懇談会(乳児)		七夕会		夏祭り		運動会		親子遠足		保育参観		新年の集い・餅つき		節分		卒園式			
				歯科検診		水遊び		水遊び		引き取り訓練				給食参観(虹)		クリスマス会		不審者対応訓練		新生活発表会		新入園児説明会	
4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1 土		1 月		1 木	衣替え	1 土	水遊び開始	1 1 火		1 金	引き取り訓練	1 1 日		1 1 水		1 金		1 1 月	年始休園	1 1 木		1 金	ひな祭り会
2 日		2 火		2 金		2 日		1 2 水		2 土		1 2 月	衣替え	2 木		2 土	保育参観(星)	1 2 火		1 2 金	節分	2 土	新入園児説明会
3 月	入園式	3 水	憲法記念日	1 3 土		1 3 月		3 木		3 日		1 3 火		3 金	文化の日	1 3 日		1 3 水		1 3 土		1 3 日	
4 火	慣習	4 木	みどりの日	1 4 日		1 4 火		4 金		4 月		4 水		4 土		1 4 月	保育参観(虹月)	4 木		4 日		1 4 月	
5 水	慣習	5 金	こどもの日	1 5 月		5 水		5 土		1 5 火		5 木		5 日		1 5 火		5 金	新年の集い餅つき	5 月		5 火	
6 木	慣習	6 土		1 6 火		6 木		6 日		1 6 水		6 金		6 月		6 水		6 土		1 6 火		6 水	
7 金		7 日		1 7 水		7 金	七夕会	7 月		7 木		7 土	園見学説明会	1 7 火		7 木		7 日		1 7 水		7 木	お別れ遠足・避難訓練
8 土		1 8 月		8 木		8 土		1 8 火		8 金		8 日		1 8 水		8 金		8 月	成人の日	1 8 木		8 金	
9 日		1 9 火		9 金		9 日		1 9 水		9 土	園見学説明会	1 9 月	スポーツの日	1 9 木		9 土	保育参観(宙華)	1 9 火		9 金		9 土	
10 月	慣習	10 水		10 土	懇談会(虹月)	1 10 月		10 木		10 日		1 10 火		10 金	親子遠足(宙華)	10 日		1 10 水		10 土		1 10 日	
11 火	慣習	11 木		11 日		1 11 火		11 金	山の日	1 11 月		11 水	監査	11 土	園見学説明会	1 11 月		11 木		11 日	建国記念日	1 11 月	
12 水	慣習	12 金		12 月		12 水		12 土		1 12 火		12 木		12 日		1 12 火		12 金	不審者対策訓練	12 月	振替休日	1 12 火	
13 木		13 土	懇談会(宙華)	13 火		13 木		13 日		1 13 水		13 金	避難訓練	13 月		13 水		13 土		1 13 火		13 水	
14 金		14 日		1 14 水		14 金	避難訓練	14 月		14 木		14 土	運動会	14 火		14 木	避難訓練	14 日		1 14 水		14 木	お別れ会
15 土		1 15 月		15 木	避難訓練(消火)	15 土		1 15 火		15 金	避難訓練	15 日		1 15 水		15 金		15 月		15 木		15 金	
16 日		1 16 火		16 金		16 日		1 16 水		16 土		1 16 月		16 木	誕生会、健診	16 土		1 16 火		16 金		16 土	
17 月		17 水		17 土		1 17 木	海の日	1 17 金		17 日		1 17 火		17 水	避難訓練	17 日		1 17 水		17 土	生活発表会	17 日	
18 火		18 木		18 日		1 18 火		18 金	避難訓練	18 月	敬老の日	1 18 水		18 土		1 18 月		18 木		18 日		1 18 月	
19 水		19 金		19 月		19 水		19 土	園見学説明会	1 19 火		19 木		19 日		1 19 火		19 金		19 月		19 火	
20 木		20 土		1 20 火		20 木		20 日		1 20 水		20 金		20 月		20 水		20 土		1 20 火		20 水	春分の日
21 金	避難訓練	21 日		1 21 水		21 金		21 月		21 木		21 土		1 21 火		21 木	誕生会、健診	21 日		1 21 水		21 木	誕生会、健診
22 土		1 22 月		22 木	誕生会、健診	22 土	園見学説明会	1 22 火		22 金		22 日		1 22 水		22 金	クリスマス会	22 月		22 木	誕生会、健診	22 金	
23 日		1 23 火		23 金		23 日		1 23 水		23 土	秋分の日	1 23 月		23 水	勤労感謝の日	1 23 土		1 23 火		23 金	天皇誕生日	1 23 土	卒園式
24 月		24 水		24 土	園見学説明会	1 24 月		24 木	誕生会、健診	24 日		1 24 火		24 金		24 日		1 24 水		24 土		1 24 日	
25 火		25 木	誕生会、健診	25 日		1 25 火		25 金		25 月		25 水		25 土	園見学説明会	1 25 月		25 木	誕生会、健診	25 日		1 25 月	
26 水		26 金		26 月		26 水		26 土	夏祭り	26 火		26 木	誕生会、健診	26 日		1 26 火		26 金	避難訓練	26 月	避難訓練	26 火	
27 木	誕生会、健診	27 土		1 27 火		27 木	誕生会、健診	27 日		1 27 水		27 金		27 月	給食参観(虹)	27 水		27 土		1 27 火		27 水	
28 金	子どもの日の集い	28 日		1 28 水		28 金		28 月		28 木	誕生会、健診	28 土	園見学説明会	1 28 火		28 木		28 日		1 28 水		28 木	
29 土	昭和の日	1 29 月	避難訓練	29 木		29 土		1 29 火		29 金		29 日		1 29 水		29 金	年末休園	1 29 月		29 木		29 金	
30 日		1 30 火		30 金		30 日		1 30 水		30 土		1 30 月		30 木		30 土		1 30 火				30 土	
		31 水				31 月		31 木	水遊び修了			31 火				31 日		1 31 水				31 日	
		9		10		あと1日休み	8			11		8		10		9		10		11		12	

10(9) 10(9) 9(9) 10(9) 9(9) 9(9) 10(9) 10(9) 10(9) 11(9) 9(8) 9(9)

健診(虹・華) 健診(虹・宙) 健診(虹・星) 健診(虹・月) 健診(虹・華) 健診(虹・宙) 健診(虹・星) 健診(虹・月) 健診(虹・華) 健診(虹・宙) 健診(虹・星) 健診(虹・月)

園内会議 懇談会(幼児) 懇談会(乳児) 七夕会 夏祭り 運動会 親子遠足 保育参観 新年の集い・餅つき 節分 卒園式

歯科検診(未定) 明石町保育園プール利用(宙華) 希望者面談(星宙華)・面談(虹月)12・1・2月で実施 歯科検診(未定)

※ 各行事につきましては、感染症等の状況を見ながら、変更や中止もございます。
 予め、ご理解頂きますようお願い致します。

2023年度 事業報告書

ブライト保育園 浦和美園
2024年3月29日(金)

1. 保育園の概要

(1) 所在地：埼玉県さいたま市緑区下野田509番地

(2) 定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
5	10	15	20	20	20	90

(3) 2022年度の園児数

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
5	10	16	20	20	20	91

(4) 職員数

役職	園長	主任	保育士	保育補助	調理師	栄養士	嘱託医	合計
常勤	1	1	13		1			16
非常勤			9	2		1	2	14

(5) 事業年度

2023年4月1日～2024年3月31日

(6) 開園時間

平日 7:00～20:00

土曜日 7:00～18:00

(7) 職員会議

会議名	出席者	頻度
職員会議	正職員	月1回
処遇改善会議	園長、各クラス担任	月1回
月案・週案会議	園長、各クラス担任	月1回

リーダーミーティング	主任、リーダー	月1回
給食会議	園長、栄養士	月1回
安全	主任、中核リーダー、園長	月1回
行事会議	園長、主任、担当	適宜

(8) 人材育成、保育の質向上の取り組み

- ・外部研修(オンライン研修)に出来る限り参加し、専門的知識を身につける機会をもてた。

(9) 地域との連携

- ・近隣の駅で「鉄道教室」に参加し、運転士などの仕事について学んだ。
- ・保幼小連絡懇談会に参加し、年長児の進学に向けてしっかりと引継ぎを行えた。
- ・子育て支援で園庭開放や保育室の開放に加え、ベビーマッサージに加えビジョントレーニングを行い地域に存在をアナウンスできた。

2. 保育目標

- 子どもの気持ちをいったんはそのまま受け止める事を意識することにより、子ども自身の存在価値を感じて自己肯定感を高める事が出来たと思う。
- 主体的な取り組みに関しては始めたばかりで成果と言えるほどの変化は見られていない。しかし職員の保育への考え方には十分アプローチできたと考えている。主体的な保育を行える環境設定については今期のみではなく継続をしていく。

3. 今年度の重点的な取り組み。

《子ども主体の保育について考える》

- 職員の理解を深める事が難しく、子ども主体と言いつつも大人都合になっている場合が多かった。他園への見学も進まず、反省すべき点として職員の主体性に任せすぎた事があげられる。もう少しこちらからの働きかけが必用であった。

《丁寧な保育を行う》

- 言葉がけ、所作においては一定ラインを維持できているのでこれを継続していく事を重要と考える。
- 副園長、主任が園内巡回を良く行い不適切保育防止に役立っている。

《安心・安全な保育を行う》

- 副園長や主任が保育室巡回を行いつつ小さな怪我なども見回る事で職員が子どもをよく見るようになり変化を感じた。良い傾向なので今後も継続していく。

令和5年度ブライツ保育園横浜日吉 事業報告書

I. 保育所の運営

(1) 定員 60名

(2) 年齢別入所児童数（令和6年3月31日現在）

夢（0歳）	虹（1歳）	月（2歳）	星（3歳）	宙（4歳）	華（5歳）	合計
6名	10名	10名	10名	12名	9名	57名

(3) 職員数

- ・園長 1名 ・保育士 8名 ・パート保育士 6名 ・保育補助 2名
- ・調理士・栄養士 2名 ・パート事務職員 1名
- ・嘱託医 2名（内科 1名・歯科 1名） 計 22名（令和6年3月31日現在）

(4) 職員会議の開催状況

園の円滑な運営と事業推進のため次の職員会議を行う。

- ・定例職員会議（毎月） ・クラス会議（月1回） ・非常勤職員会議 年3回
- ・各係 会議（随時） ・給食会議（毎月） ・乳児会議、幼児会議（毎月1回）
- ・昼ミーティング（毎日） など

(5) 研修会、勉強会（人材育成、保育の質の向上）の取り組み状況

保育所ニーズに答え、上部団体・各種団体の開催する研修会・研究会に参加。

外部のみならず、内部においても各種勉強会（嘔吐処理研修、救命救急研修、不適切保育研修など）を実施。

II. 保育の実施状況

(1) 保育目標

年間を通して、事故もなく大きな怪我もなく無事に終えることが出来た。

今年度より行事や活動の制限がなくなり色々なことができることとなり、改めて行事の在り方や活動の見直し、ねらいや内容を検討する機会となった。子どもの為の行事や活動となるような工夫を行っていった。行事では保護者の方にも参加して頂くことができ、子どもたちの園での様子や成長を一緒に共有する時間が持てて良かった。

今年度は不適切保育について学び、職員自身が自分の保育は大丈夫か・・・不安や葛藤があった職員も多くいた。それでも子どもたちのために、自分の保育を見直し、子どもにとっての「子ども主体」の保育を考える毎日を過ごし、園全体で前を向いていくことができたように思う。今までこうしていたから～という考えを改め、目の前の子どもたちにとっての保育を見つけていこうと職員相互に学んでいけたと思う。園内研修やディスカッションを重ね、横浜日吉園としての保育の方向性を模索していった。

子どもの様子や興味・関心により活動内容を決め、子どもたちに寄り添った活動を心がける反面、課内活動やワークなど取り入れなければいけない活動も多く、スケージュリングややりたい保育の継続が難しくなる場面もあったように思う。どのように毎日の保育を組み立ててつなげていけばよいか課題となった。

日々の目の前の保育に追われがちだが、子どもにとっての目線を持ち保育をおこなっていかれたらと思う。

運営については、育休に入る職員や退職職員がいたので、シフトや休憩廻しなど職員の協力のおかげで成り立っていた。

今年度は同じブライツ保育園の職員が異動してきたことで、新しい風となり、今までの当たり前を見直していくきっかけとなったように思う。

職員間において、クラスmt、乳幼mtなどで子どもの姿や保育について共有し、お互いの取り組みを知ることや、クラス内で困っていることを話し合うなど、mtが報告会だけで終わらないように心がけた。

また、リーダーやミドルリーダーの育成が整っていないので、それぞれの役割を明確にしていき、組織として運営が進めていけるようにしていきたい。

(2) 保育時間

午前7時30分～午後6時30分

(延長保育時間 午前7時00分～午前7時29分 / 午後6時30分～午後8時00分)

(3) 保育内容

- 保育所保育指針に基づいた指導計画を作成し、計画的に保育を行うことで、子どもの情緒が安定するような生活環境を作り、それぞれが自己を十分発揮して活動できるよう促していった。
- 年齢に応じて保育環境を準備し、基本的な生活習慣を身につけるための介助、言葉かけを行い、自立心を養った。また、遊びの中で集団生活に必要なルールを知らせていった。
- 子どもの発達に合った保育をこころがける。
- 保育士が子ども達の声に耳を傾け、子どもの主体的な活動や子どもの相互の関わりを大切にした。
- 保育参観・懇談会を行い、日常の活動の様子を見て頂き、保護者と子どもの成長を共に喜んだ。
- 園外散歩の機会を増やし、自然を取り入れて遊ぶことで四季の移り変わりを体で感じ感性を磨き、又交通ルールなどを知らせ自分の身を守ることを学んでいった。
- 昨年度に続き、外部より体操講師をお迎えし、月2回幼児クラスを対象に体操の時間を設けた。それまで以上に、運動機能の促進は勿論、「身体を動かす楽しさ」や「危険に対する考え方」「集団で運動をする楽しさ」などを経験する事になり、子どもたちにとっても楽しみの時間とすることができた。
- 昨年度に続き、幼児クラス対象にNOVAによる英語教室の時間を設ける。英語に親しむことをねらいとし、楽しんで参加することができていた。
- 絵本の貸し出しを継続的に実施。季節ごとに絵本を入れ替え、また新しい本を増やしていき、子ども達が興味関心をもてるよう整えていった。またリクエストコーナーを設置し、絵本に興味関心を持ってもらえるよう工夫した。
一方保育の中では、引き続き、絵本を読む機会を大切にし、各クラス内の絵本や紙芝居・パネルシアターや大型絵本も増やし、お話しを楽しむ機会を増やしていった。

(4) 実施した特別保育事業

延長保育促進事業

(5) 実施した主な行事

別紙「年間行事予定表」参照

Ⅲ. 給食の実施状況（食への取り組み）

- インスタントやレトルト食品は極力使用せず季節の食材を取り入れた手作りで和食中心の献立を実施した。（おやつについても手作りにこだわった）

- ・毎月行われる給食会議や給食時に各クラス巡回し、離乳食児への配慮の仕方それに伴う家庭との連携の取り方の確認や、子どもたちの食べ具合などを考慮し、メニューの改善や食材の幅を広げるなどの工夫を心がけた。
- ・0歳児・1歳児クラスの食具を見直し、子どもたちが自分で食べやすい食器の導入を行った。
- ・また、乳児・幼児会議に出席し、保育の先生と喫食状況やクッキングについて共有していった。
- ・アレルギー体質の子どもへの対応策の改善、改革を常に心がけ、保護者の方と月1回面談を行い、連携を密にして提供を行った。またアレルギー除去食の提供の際は、前日の昼Mtで全職員に周知を行い、配置の調整を行った。
- ・誤飲・誤嚥事故を防ぐための取り組みや、また保育士への周知も行い、危険性を共有した。
- ・各クラスで年齢に合った定期的な食育活動の取り組み（クッキングや野菜スタンプ・お弁当箱の日・きのこくらべ等）の計画・実施を行った。
- ・年長クラスでは三大栄養素を学び、食べ物についての興味関心を持つきっかけとなった。
- ・給食や食事についてわからないことをいつでも聞いてもらえるよう「質問箱」を設置し都度応えるようにした。
- ・年度末に給食アンケートを実施し、回答をまとめ掲示を行った。

IV. 子育て支援

- ・春の懇談会は久しぶりに対面で行い、担任や保護者同士の懇親を深めることができた。
- ・保育参観は場所に限りがある為、1日の参観人数を制限し、日常の保育の様子を観て頂くことができた。また試食会も同時に行い、子どもたちが食べている味を知ってもらうことができた。
- ・個別面談を実施。面談を通じて、育児・食育などに対する保護者の声に耳を傾け、園児の成長の喜びや悩みや不安を共有することが出来た。
- ・年度末の懇談会も、対面で実施することができ、担任と保護者と写真や動画を使って1年間の振り返りを行い、良い時間となった。
- ・いつでも育児について、また、保育園に関して、疑問・要望を受けることが出来るよう「意見箱」を設置。
- ・年度末にはアンケートを実施し、質問や要望・意見等をまとめて掲示を行った。

V. 健康管理の実施状況

- ① 内科
年2回（6月、11月）に、園囑託医による健康診断を実施した。
- ② 歯科
年2回（7月、12月）に、園囑託歯科医による歯科検診を実施した。
- ③ 尿検査
年1回、3歳児以上が実施した。
- ④ 視聴覚検査
年1回、3歳児が実施した。
- ⑤ 職員定期健康診断
年1回、健康診断を正職員に実施した。
- ⑥ 検便
毎月、専門業者に依頼し「赤痢・サルモネラ菌」「病原性大腸菌」と、「o-157検査」も全職員に実施した。
10月—3月は、「ノロウイルス検査」を給食室・0歳児クラスの職員は行う。

VI. 非常災害危険防止の実施状況

- (1) 避難・消火・通報訓練
月1回、いろいろな場所で、地震や火事を想定して避難・通報訓練を実施した。

また併せて、消火訓練も月に1回行った。

広域避難所までの避難ルートの確認、訓練を実施した。
浸水警戒区域となっている為、浸水の訓練を実施した。
引き取り訓練を行い、保護者の方と災害伝言ダイヤルやお迎え方法を確認した。
月1回避難訓練の実施報告に併せて、保護者の方へくみーアプリの接続状況を確認した。

(2) 防犯訓練

年2回、不審者出現を想定した防犯訓練を実施。
考え得る様々な場面(園内外)、シーンを想定してのより実践的な不審者訓練を実施した。
合言葉や職員の動きを確認した。

(3) 消防署立会い訓練

消防署の方に避難訓練を見て頂き、アドバイスを頂く。
併せて職員による水消火器を使用した消火訓練や立会いのもとでの通報訓練を実施。
また、園児は消防車との記念撮影や防災教室(幼児クラス対象)を実施した。

(4) 救命救急講習会

職員全員が参加し、NPO法人シーボウル海の教室の講習を受ける。
【テーマ】赤ちゃん・子どもの救命/応急手当講座
～1分1秒を争う緊急事態の手当～

- ・乳児・小児の心肺蘇生法(実技)
- ・AEDの使い方(実技)
- ・シュミレーション訓練

VII. 地域交流など

- ・今年度は地域交流の絵本の貸し出しを行った。コロナ感染症拡大防止の為、中止とした。
- ・自治体主催のラジオ体操に参加し、地域の方との交流を行った。
- ・来年度より園庭開放や子育て相談を行えるよう準備を進めている。

令和5年度ブライト保育園横浜綱島事業報告書

I. 保育所の運営

(1) 定員 60名

(2) 年齢別入所児童数（令和6年3月31日現在）

ゆめ0歳	にじ1歳	つき2歳	ほし3歳	そら4歳	はな5歳	合計
6名	10名	8名	8名	12名	11名	55名

(3) 職員数

- ・園長 1名 ・主任 0名 ・保育士 7名 ・非常勤保育士 7名 ・保育補助 3名
- ・調理師 12名 ・栄養士 1名 ・非常勤栄養士 1名 ・事務 1名
- ・嘱託医 2名（内科 1名・歯科 1名） 計 24名（6年3月31日現在）

(4) 職員会議の開催状況

園の円滑な運営と事業推進のため次の職員会議を行う。

- ・定例職員会議（月1回又は2回）・クラス会議（随時）・乳児・幼児会議（月1回）
- ・各種係会議（安全、衛生、食育、）・給食会議（月1回）リーダー会議（随時）

(5) 人材育成、保育の質の向上の取り組み状況

- ・指針に対応した園内研修を計画実施・キャリアアップ研修への計画的参加・済聖会アカデミーへの参加 法人主催の年齢別勉強会に参加し情報共有
- ・保育士の専門性の向上を図るため園内研修に加え外部研修への参加機会を希望していたが新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止或いはwebで受講。
また、研修報告書を作成し、研修で身に付けた知識、技能を他の職員と共有することにより保育園全体の専門性の向上に努めた。今年度の課題として捉えている安全面の外部研修をZoomで受講。

II. 保育の実施状況

(1) 保育方針

子どもたちの「生きる力」（独り立ちし社会の中で生きていく力）の基盤づくりを「アタマ・ココロ・カラダの三位一体“興育”」を通じて支援する。

「生きる力」とは

- ・自ら考え行動する（考え抜く力、前に踏み出す力）
- ・我慢強さ、打たれ強さ、あきらめない気持ち、自分に負けない気持ち
- ・豊かなコミュニケーション
- ・豊かな感性、創造力の豊かさ
- ・仲間と関わる（チームワーク）力
- ・自分に対する「自信」（自己肯定感）

(2) 園目標

「横のつながりのある保育」

少子化により自然発生的には子ども集団が生まれず、子ども集団を基盤とする子どもの力は育ちにくくなっている。ひとりひとりに手が掛けられるようになり大人が子どもにとって必要のないところまで手を出すようになり、行動を制御、指示する環境の中「生きる力」の基盤を作ることが難しくなっている。子ども主体性を重んじる事が大切で、こども家庭庁が打ち出した『こどもまんなか社会』の子どもの最善の利益を第一に考え、子どもが置かれている環境を考慮し、すべての職員が一人一人のこども達を見守り関わり、子ども達が守られていると感じる安全基地になるような保育園でありたい。

(3) 保育時間

午前 7 時 00 分～午後 8 時 00 分

(延長保育時間 朝 7:00～7:29、夕方午後 18:31～20:00)

(4) 保育内容

年齢に合わせ活動の中で、食育も含め園目標である「見守る保育」「横のつながりのある保育」の浸透を目指し、子ども達が「その子らしく伸びていく」ための4つの関わり【気づき】【感じる心】【認める】【見守る・待つ】こと実践することで保育士との信頼関係を築き、遊びや生活の中から様々なことを学ぶことが出来た。

(5) 実施した特別保育事業

- ・延長保育促進事業・年度限定児受け入れ事業・小規模連携園児受け入れ事業・障害児保育

(6) 実施した主な行事

- ・入園式（全体では中止、各クラス翌日からの慣らし保育の説明と各家庭ごとの記念写真撮影のみ）
- ・運動会（小学校の体育館を借りて、2歳児クラス～5歳児クラスまで保護者参加
0.1歳児クラスは保育園内での保育の中で運動会ごっこをして保護者に動画配信）
- ・クリスマス会（幼児全クラスで実施）
- ・お正月会（幼児全クラスで実施）
- ・節分（幼児全クラスで実施）
- ・生活発表会（幼児組、乳児組の2部制で実施。保護者2名観覧）
- ・ひな祭り会（全クラスで実施、他に乳児クラス合同でレクリエーション実施）
- ・お別れの会（全クラス参加で実施）
- ・誕生日会（毎月、全体で実施）
- ・卒園式（保護者のみ、在園児参加なし、職員も式典には正規職員が参加し、式典後サプライズで全職員で園でお祝い送り出す予定だったが、雨天のためエントランスで花道を作り送り出した）

Ⅲ. 給食の実施状況（食への取り組み）

- ・毎日の給食を献立ケースに入れて展示しているが、隔月ごとに乳児・幼児用の食具・量を目で見てわかる様に説明文を付け展示した。
- ・給食室が見えるエントランスのガラス越しに、牛乳パックでつくった階段を置き、登園時に園児が給食室を覗いて、給食職員が食材を見せたりしてコミュニケーションを取って給食を楽しみにしていた。
- ・給食会議では、子どもたちの喫食状況を確認し、担任の要望や感想を聞き取り、メニューの改善や食材の幅を広げた。
- ・本年度は食育が活性化し、各クラス年齢に合わせた取り組みとなり、2歳児以上は実際にクッキングに取り組み楽しい体験ができていた。年長組は味噌作りをして、夜まで保育時に自分たちで作った味噌で豚汁を作り食して喜びを感じていた。
- ・アレルギー体質の園児への安全な食事を提供するため、毎月保護者、担任保育士、栄養士と三者面談をして体調の確認や喫食状況を共有して翌月の献立の確認をした。
また、専用のテーブルの設置、誤飲防止のため別カラーのトレーを用いたり、アレルギー児には1名の職員を配置した。
- ・プランターで複数の野菜の栽培に取り組み、「苗を植え、育て、収穫し、食する」の工程をし

た。法人の意向により収穫したものは食することはせず、購入したものと差し替え提供。
4歳児クラスは個人別にバケツ稲を育て、正月飾りを作り持ちかえった。5歳児は味噌作りをしたり、年度の後半にはうどん作りをして食べた。4歳児クラスは生活発表会で『カラスのパン屋さん』という劇をしたつながりで、発酵しなくても出来るパン作りを栄養士と一緒に思い思いに作り、5歳児に振舞った（実際5歳児が食したのは調理職員が作った物に差し替え）
・当番が配膳することはせず、職員が配膳。4.5歳児クラスは黙食をし、年長は就学に向けて時間を設定して食べ終わる事を心掛けたり、小学校の給食で出る牛乳パックや納豆を献立に追加して、片付け等で学校で困らないように実践した。

IV. 子育て支援

- ・個別面談を通じて、育児、食育などに対する保護者の声に耳を傾け一緒に考え悩みや不安を共有することが出来た。また助言をすることで保護者の不安を取り除く助けになった。
- ・今年度は保育参観・参加また一日の参加・参加を少数人数にして実施。日々の活動記録を保育者の負担がかからない程度に知ってもらうため写真等で「見える化」を心掛け、その日の活動を文章にして掲示した。園での取り組みを理解して頂けた。また親子の会話の架け橋となった。行事は夏祭りから保護者参加実施。感染防止対策を徹底して開催できた。

児童

- ① 内科検診
年2回（4月、11月）園嘱託医による健康診断を実施した。
- ② 歯科検診
年2回（6月、12月）園嘱託歯科医による歯科検診を実施した。
- ③ 尿検査 幼児3クラス対象
年1回 検査日に家庭で起床時に採尿したものを園から検査業者に提出し実施した。
- ④ 視聴覚検査 3歳児クラス対象
年1回 行政から依頼があり、家庭で検査した後に保育園でも検査をして提出。
検査結果により個別で2次検査を行政で受診。

職員

- ① 定期健康診断
年1回、健康診断を全職員に実施した。
- ② 検便
毎月、専門業者に依頼「O157」の検査を全職員に、10月～3月までの半年は、「ノロウィルス」検査は0歳児担任・調理職員・0歳児に食事介助に入る職員実施。

VI. 非常災害危険防止の実施状況

(1) 避難訓練・防犯訓練

防災、安全教育に力を入れ様々な想定（火災、地震、水害、不審者）で避難訓練を行い自分の体を守り、命を守るための力を育んだ。
港北消防署に依頼して、キッズ防災教室を実施。紙芝居を見たり消防職員の話聞き、防災について学んだ。

VII. 地域交流など

- ・園児をいつも見守ってくれている保育園前のコンビニエンスストアに年長児が卒園制作として作成した紙製の花束を感謝の気持ちを込めた言葉と一緒に寄贈した。
地域あつての保育園ということを職員のみならずこども達にも知ってもらう良い機会となった。

令和5年度ブライト保育園横浜松見町 事業報告書

I. 保育所の運営

(1) 定員 60名

(2) 年齢別入所児童数（令和6年3月31日現在）

夢（0歳）	虹（1歳）	月（2歳）	星（3歳）	宙（4歳）	華（5歳）	合計
6名	10名	10名	12名	12名	11名	61名

(3) 職員数

- ・園長 1名 ・主任 1名 ・保育士 12名 ・パート保育士 8名
- ・調理士・栄養士 4名
- ・嘱託医 2名（内科 1名・歯科 1名） 計 28名（令和6年3月31日現在）

(4) 職員会議の開催状況

園の円滑な運営と事業推進のため次の職員会議を行う。

- ・定例職員会議（毎月） ・クラス会議（月1回） ・非常勤職員会議 年3回
- ・各係 会議（随時） ・給食会議（毎月） ・乳児会議、幼児会議（毎月）
- ・昼ミーティング（毎日） ・1対1MT（年4回）

(5) 研修会、勉強会（人材育成、保育の質の向上）の取り組み状況

保育所ニーズに答え、上部団体・各種団体の開催する研修会・研究会に参加。

外部のみならず、内部においても各種勉強会（アレルギー提供研修、嘔吐処理研修、新入社員研修、不適切保育研修、書類研修など）を実施。今年度は外部研修（特にキャリアアップ研修）に積極的に参加し、多くの職員が学びの機会を得ることが出来た。

II. 保育の実施状況

(1) 保育目標

- 年間を通して、事故もなく大きなケガもなく無事に終わることが出来た。
開園6年目となり、職員の出入りもなかったため、前年度築いた風土をより強化する事に着手できた。コミュニケーションがスムーズだったことで、必要であれば職員同士でコミュニケーションを取り合いながら、保育の事、また、安全面衛生面の事など、話し合ったり、気が付いて運営側に話をしてくれる事が多くなった。一方、職員全体にそういった風土が広がるにはもう少し時間もかかる事かと思いつつも、少しずつの動き出しに嬉しくもある一年だった。
- 毎月実施する事ができた「乳児・幼児ミーティング」を後半になるにしたがって上手に活用することが出来るようになってきた。乳児、幼児リーダーを中心に討議内容を検討し、話し合う事が定着し、そのMTを利用することが出来るようになった。
- また、社会問題となった不適切保育に関しての園内研修を実施し、どんな保育（関わり）が不適切な保育にあたるかを全職員で共有し、その中で、それぞれが抱える保育の悩みを話し合う事も出来た。
- 一方で、子どもの育ちについて園内で学び合う機会を設けることが出来た。特に法人主催の保育勉強会の乳児部会に参加することがきっかけとなり、特に後半、乳児クラスで保育について語る場面が増えた。今後、現在手薄となっている、発達を捉え、その上で安全を確保しつつ、「子どもを見守り」「子どもを信じて育てていく」保育に繋げていくには、子どもの育ち（発達）を的確にとらえる機会を設けていきたい。
- 新型コロナウイルス感染症への対策が少しずつ緩和されてきた今年度となり、（感染対策を取りながら）多くの行事で保護者の方々が参加出来た1年となった。

保護者の方々も直接参加してもらえたことで、子ども達の育ちを共有できる機会が多く持てた事は園にとっても大変嬉しい事だった。

(2) 保育時間

午前7時30分～午後6時30分

(延長保育時間 午前7時～7時29分/午後6時31分～午後8時00分)

(3) 保育内容

- ・ 保育所保育指針に基づいた指導計画を作成し、計画的に保育を行うことで、子どもの情緒が安定するような生活環境を作り、それぞれが自己を十分発揮して活動できるよう促していった。
- ・ ● 興育 ● の考えに重点を置き、より多くの体験、感動から子どもたちが学ぶことを大事にした運営を心がけた。
- ・ 年齢に応じて保育環境を準備し、基本的な生活習慣を身につけるための介助、言葉かけを行い、自立心を養った。また、遊びの中で集団生活に必要なルールを知らせていった。
- ・ 保育士が子ども達の声に耳を傾け、子ども達に経験させてあげたいことを自由な発想の下保育の実践を行った。
 - ・ 今年度も、「英語の課内レッスン」と「体操」の外部講師をお呼びし各月2回～3回、3歳以上児対象に継続して実施。
- 5月よりコロナによる感染対策も明けたため、ほぼ通常の運営を実施することが出来た。それに伴い、特に保護者参加の行事では、多くの保護者の方々から子ども達の成長を見て頂くことが出来たため、園との距離も少し縮まったように感じた。
- 保育に関しても、法人主催の研修などをきっかけに、特に乳児保育について、子どもの主体性について保育討議をする時間や、「養護」について皆で考える時間も設ける事も出来た。
- 行事の取り組み方も、各年齢に即した内容や、参加の仕方を再検討するなど、変化もしながら運営できた1年となった。

(4) 実施した特別保育事業

延長保育促進事業

(4) 実施した主な行事

※別紙 年間行事予定表参照

Ⅲ. 給食の実施状況（食への取り組み）

- ・ インスタントやレトルト食品は極力使用せず季節の食材を取り入れた手作りで和食中心の献立を実施した。（おやつについても手作りにこだわった）
- ・ 毎月行われる給食会議で、離乳食児への配慮の仕方それに伴う家庭との連携の取り方の確認や、子どもたちの食べ具合などを考慮し、メニューの改善や食材の幅を広げるなどの工夫を心がけた。
- ・ アレルギー体質の子どもへの対応策の改善、改革を常に心がけ、保護者の方との連携を密にして子どもにあった食材、ミルクの使用を行った。
- ・ 園庭での野菜栽培に取り組み、収穫した野菜をその場で洗って、給食の一品にしたりと、食体験を通して食べたいもの、好きなものが増え購入して食べるのとは一味もふた味も違う職を体験することが出来た。
- ・ 子ども達の食に関する状況把握のため「食に関するアンケート」を実施。結果をまとめ、公表、給食時間の子ども達や家庭へのサポートの仕方の参考とした。

IV. 子育て支援

- 在園の保護者に対しては、各行事への参加の際に、人数制限を撤廃し、積極的な参加を促すことが出来た。
- 園見学の希望者に対しては、資料を作成し、園長が対応。園内の見学も、全クラス、中をのぞいて頂く事で、園の雰囲気を知って頂くように配慮した。
- いつでも育児について、また、保育園に関して、疑問・要望を受けることが出来るよう「意見箱」を設置し、アドバイスをしたり、園だよりや掲示をして明文化するなどの工夫をした。
- 各保護者参加行事の後には、随時父兄アンケートを実施。アンケートに対する質問などには掲示などをして解答したり、園長が面談をするなどして解消した。また、今年度初めて、年度末に運営全般に対しての保護者アンケートを実施。集計後、結果を配布して開示した。

V. 健康管理の実施状況

(1) 児童

① 小児科

- 年間を通して全園児、年間で2回、園嘱託医による内科検診を実施した。
検診前に保護者より質問なども受け付け園を通して質問し、その返答を保護者に返すなども実施。

② 歯科

- 年間で2回、園嘱託歯科医による歯科検診を実施した。
園内での歯磨きについてはコロナ感染症対策のため、仕上げ磨きが出来ない為今年度は実施せず。

(2) 職員

① 定期健康診断

- 年1回、健康診断を正職員に実施した。

② 検便

- 毎月、専門業者に依頼し「赤痢・サルモネラ菌」「病原性大腸菌」は全職員、10月～3月のみ「o-157 検査」を給食職員と0歳児クラス対応職員（8～10名程）に実施した。

VI. 非常災害危険防止の実施状況

(1) 避難・消火・通報訓練

- 月1回、いろいろな場所からの出火を想定して避難・消火・通報訓練を実施した。
また地震を想定した防災訓練も実施した。

(2) 防犯訓練

- 年2回、不審者出現を想定した防犯訓練を110番通報訓練も含めて行った。
考え得る様々な場面（園内外）、シーンを想定してのより実践的な不審者訓練を実施した。

VII. 地域交流など

- 園内行事であるハロウィンイベントでは、近隣地域の方々のご協力を頂き、子ども達に楽しい時間とすることが出来た。また、その後の勤労感謝の日では、園児からハロウィンイベントでお世話になった方々や近隣の消防署にも感謝状をお送りし、交流の時間を持つことが出来た。

以上

令和5年度 ブライト保育園調布仙川業報告書

I. 保育園の概要

(1) 所在地：東京都調布市仙川町3-17-6

(2) 定員：70名

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
5	10	10	15	15	15	70

(3) 令和5年度の園児数（3月1日現在）

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
6	10	10	14	10	15	65

(4) 職員数（予定）

・園長 1名 ・主任 1名 ・保育士 12名 ・看護師 1名
・非常勤保育士 6名 ・調理（栄養士、管理栄養士） 3名

・嘱託医 2名（内科 1名・歯科 1名） 計 26名

(5) 事業年度 2023年4月1日～2024年3月31日

(6) 開園時間 午前7時00分～午後8時00分
（延長保育時間 午後6時01分～午後8時00分）

(7) 職員会議について

園の円滑な運営と事業推進のため次の職員会議を行う。

- ・定例職員会議（毎月） ・クラス会議（月1回） ・行事職員会議（諸行事前後）
- ・各種係会議（随時） ・給食会議（毎月）
- ・非常勤職員会議（随時） ・1対1面談（年2～3回） 等

(8) 研修会、勉強会（人材育成、保育の質の向上、安全、衛生面）の取り組み

- ・外部研修に積極的に参加できるよう、できるだけシフトを工夫して調整した。
- ・内部の各種勉強会（感覚統合遊び、アレルギー児対応、食育研修など）を実施した。
- ・調布市主催の栄養士会、主任会、看護師会に出席した。
- ・済聖会アカデミーに参加した。

(9) 小学校・行政機関等との連絡協調

- ・地域の社会福祉協議会が主催する福祉施設の協議会に参加した。
- ・地域の商店街と協力して、ハロウィンイベントを行った。
- ・地域の園芸店に行き、買い物を通して交流を図った。

II. 保育目標

(1) 保育目標（方針）

【ミッション】

関わるすべての人の「ハッピー」を追及することをもっとも大切な使命と捉えています。

「園児」の「生きる力」（独り立ちし社会の中で生きていく力）の基盤づくりを「アタマ・ココロ・

カラダの三位一体「興育」を通じて支援する。

【モットー】

「つよく、ゆたかに、キラキラと」を保育モットーとしています。
生きていくうえで大切な「つよさ、ゆたかさ、キラキラ」を園児自らが身につけることを支援したいという「思い」と「姿勢」が表れています。

【保育目標】

“私は私（自分らしく生きる）、私はみんなの中の私（みんなと共に生きる）”
《一個の主体として生きていく基本姿勢を育む》

- ① 自分の思いを表現する
- ② 自分で積極的に「ヒト、モノ、コト」に取り組む
- ③ 自分で考え、工夫し判断する
- ④ 他者の思いに気づき、他者の思いを受け止めていく

【保育の関わり方】

- ① 子どもの思いを受け止める
- ② 子どもが自分で経験することを大切にする
- ③ 子どもが自分で考え工夫することを大切にする
- ④ 子どもが自分で気づくように言葉かけをする

Ⅲ. 今年度の重点取り組みテーマ

<年間テーマ>

「子どもも大人もディズニーランドに行くみたいにわくわくする保育園」

<取り組み>

A 保育士を楽しもう

- ・保育士になりたかった自分を思い出そう。
- ・保育士になりきろう。
- ・先生の笑顔が子どもの笑顔を作ります。

B 「応答的な関わり」と「共感的な関わり」

◆ 乳児期

- ・甘えを受容し、ふれあいを通じた応答的な関わりを大切にして、情緒の安定を図る。
- ・子どもにとっての「安全、安心な場所」となるように物的環境を整えると同時に、関わる大人は人的環境となる様関わっていく。
- ・乳児クラス的环境整備⇒一人一人が好きな遊びを自ら選び集中して遊び込める空間作り。
- ・関わる職員の固定化 ⇒安定的に過ごせるように、乳児に対しては主にどの時間帯でも乳児クラス職員が関わる様に編成する。

◆ 幼児期

- ・自分からやろうとする気持ちを認め、思いに共感し見守りながら子どもに関わる。
- ・3歳児からは「言葉のコミュニケーション」を取る保育になる事を意識し、「共感的な手助け」「共感的な見守り」と段階を経て、就学に備えていく事ができるように保育の連鎖を図る。

- 幼児クラス的环境整備⇒集団でいる時間と個でいる時間の場所の区分けをしっかりと、子どもの人格を認めた「パーソナルスペース」も設定し、一日を通して主体的に過ごせるように設定する。
- 基本となる「共感的な関わり」を基に、幼児クラスの活動の連動を図る為、教育分野の活動は主な道しるべを作成し、各職員が子どもの姿を見ながら取り組めるようにする。
- 正しい日本語を話せるように、大人が間違っただ日本語を使わないように気を付ける。

C 園内の連携がとられるように工夫する



- 各クラスが今どんなことに取り組んでいるのかを園内で共有する。
- 前週に翌週の保育内容を話し合う時間を作り、園内の設備や場所の使い方が重ならないようにする。
- 事務時間が平等にとれるように、全体でシフトを調整する。
- 職員の休憩時間が確保され、時間内に業務が終わるように園内全体で協力する。

IV. 職員体制、職員育成

- (1) 組織体制導入による権限委譲と適正運営
- (2) 年間の研修計画を立て、参加したい研修テーマを中心に積極的に研修に参加する。
- (3) 受講した研修の内容を園内で報告する。

V. 地域との連携・地域子育て支援

- (1) 地域の子育て支援活動の継続
- (2) 地元小中学生向け「職場見学」「保育働き体験」の受け入れ
- (3) 短大および4年生大学保育および調理実習生の受け入れ枠（人数）の拡大

令和5年度ブライト保育園福岡高宮事業報告書

I、保育所の運営

定員：60名

(1) 園児数・職員配置（令和6年3月31日現在）

	ゆめ (0歳)	にじ (1歳)	つき (2歳)	ほし (3歳)	そら (4歳)	はな (5歳)	合計
定員	6	8	10	12	12	12	60
在籍数	8	10	12	14	17	16	77

- ・園長1名 ・主任保育士1名 ・保育士11名 ・パート保育士1名 ・栄養士2名
- ・パート栄養士1名 ・体操教室講師（外部）1名 ・英語教室講師（外部）1名
- ・嘱託医2名（内科1名、歯科1名）

計22名(令和5年3月31日現在)

(2) 職員会議の開催状況

- ・定例職員会議（毎月）
- ・未満児会議、以上児会議（毎月）
- ・給食会議（毎月）
- ・行事担当者会議（随時）

(3) 研修について

- ・主任保育士専門研修会
- ・南区グループ研修他、各種団体の開催する研修に参加
- ・園内研修 第1回「主体的な保育とは」
第2回「救急蘇生について」
第3回「不適切保育防止について」
第4回「発達に必要な描画実践」
第5回「自己評価チェック」～振り返ってみよう～

(4) 小学校、行政機関との連絡協調

- ・保幼小連絡会
- ・小学校訪問見学（大楠小学校）
- ・保育所児童保育要録の送付（令和5年3月9日発送）

II、保育の実施状況

【法人理念】

かかわるすべての人の「ハッピー」を追求する

【保育理念】

子どもたちの「生きる力」（独り立ちし、社会の中で生きていく力）の基盤づくりを支援する

【基本方針】

アタマ・ココロ・カラダの三位一体「興育」～興味・体験・感動・気付き～

【保育目標】

・「つよく ゆたかに キラキラと」

生きていく上で大切な事を園児自ら身に付ける事を支援していく

- ・自分のことは自分でしようとする子ども
- ・自分で感じ行動できる子ども
- ・意欲的で創造性豊かな子ども

(5) 福岡高宮の目標

子どもも親も保育者も皆が幸せになる保育園

(6) 福岡高宮の目指す子ども像

- ・心も体も元気な子ども
- ・自分で考えて行動できる子ども
- ・感性豊かな子ども
- ・思いやりのある子ども

(5) 今年度の園目標・運営目標

(1) 運営目標

保育の質の向上を図る

(2) 園目標

- ・保護者と子どもの育ちの共有（保育の見える化）
- ・子どもにとって最善の人的、物的環境の整備
- ・業務の標準化、効率化

(1) 保育時間 7時～20時 （延長保育時間 18時～20時）

(2) 保育内容

- ・子ども主体の保育を掲げ、否定語、禁止語、命令語を使わない保育を心がけ、丁寧な保育を実践していった
- ・保育参観・参加を実施。希望日を募り一保育士として保育に加わり子どもの普段の様子を見たり、参加してもらったりして保護者の保育への理解を深め、成長を共有していった
- ・園だより、ほけんだより、給食だよりを配布し、園生活や今の子どもの姿を保護者に伝え、育ちを共有した
- ・園外散歩の中に走る機会を計画的に取り入れながら、幼児クラスは思い切り走る経験を多く持ってきた。かけっこからリレー、鬼ごっこ、個人から集団遊びへと遊びを広げる中で、次第に社会性が育まれる経験を重ねていった。はじめは、転倒や友だちと衝突することが目立ったが、体験を重ねる中で、子ども達自身が体の使い方を知り怪我が減少してきた。
- ・自然に親しむという点で、園庭で虫探しをしたり、散歩に出かけた際、落ち葉拾い、木の実拾いに興味を示す子どもがクラス全体に広がり、自然事象への関心を深めていった。

外部講師による指導状況

指導内容	指導回数
体操教室	水曜日（年間 24 回）
英会話教室	火曜日（年間 30 回）

(3) 実施した主な行事

※別添「年間行事計画表」参照

III 給食の実施状況（食への取り組み）

- ・安心、安全な給食の提供を基本とし、アレルギー児の代替食にも対応し安全に配慮した提供を行った
- ・行事食の提供（誕生会：12回/年、季節の行事食：6回/年）
- ・行事の際、旬の野菜を紹介し、子ども達が実際に調理前の野菜を見たり触ったりして食材に親しんだ。また、野菜の栽培、収穫を体験し、食への興味を広げた。
- ・栄養士による「三つの栄養素」のお話
- ・正しい食具の使い方、食事マナーを繰り返し伝えた
- ・「早寝・早起き・朝ご飯」の規則正しい生活のリズム作り
- ・様々な食材に興味を持てるような活動の導入
- ・「食べることは楽しい、おいしい」を当たり前と感じられるような環境づくり、関わり
- ・保育園や家庭にて、食材、メニュー、味など食事に関わる会話を通して、食べることの楽しさを感じると共に、自分の体を大切にす気持ちを育む関わり、配慮を行った

IV 健康管理の実施状況

(1) 児童

- ① 小児科 年2回（6月・3月）園嘱託医による健康診断の実施
- ② 歯科 6月
園嘱託医による歯科検診を実施
- ③ 尿検査 9月（対象：4歳児・5歳児）

(2) 職員

- ① 定期健康診断 年1回、健康診断を実施（全職員）
- ② 細菌検査 毎月、専門業者による「赤痢・サルモネラ菌」「病原性大腸菌」の検査を実施

V 非常災害危険防止の実施状況

- ・不審者侵入（防犯）訓練…南警察署警察官が来園。
実際に刃物を持った不審者が侵入した設定で通報、避難の実施
- ・就学前の年長児に対する防犯教室（南警察署）の実施
- ・洪水・高潮訓練、通報訓練の実施
- ・毎月の避難消火訓練の実施

令和5年度ブライイト保育園福岡高宮年間行事

月	行事	保護者参加行事
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 28日（金）誕生日メニュー 	
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2日（火）こどもの日の集い ・ 25日（木）交通安全指導 （3・4・5歳児） ・ 26日（金）誕生日メニュー 	
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1日（火）衣替え ・ 17日（金）誕生会 ・ 15日（木）歯科検診 ・ 28日（水）内科健診 ・ 30日（金）誕生日メニュー 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 24日（土） 保護者懇談会（0歳児～5歳児）
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3日（月）水遊び開始 ・ 7日（金）七夕会 ・ 28日（金）誕生日メニュー 	
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5日（土）夏のお楽しみ会 ・ 25日（金）誕生日メニュー ・ 31日（木）水遊び終了 	
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 29日（金）誕生日メニュー ・ 26日（月）尿検査（4・5歳児） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 15日（金）キラキラの会 （5歳児祖父母）
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 24日（火）誕生日メニュー ・ 27日（金）4・5歳児遠足 ・ 27日（金）尿検査 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 13日（金）引き渡し訓練 ・ 14日（土）運動会
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 24日（金）誕生日メニュー 	
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 25日（月）クリスマス会 ・ 25日（月）誕生日メニュー 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 16日（土）生活発表会（2～5歳児）
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5日（金）新年の集い ・ 26日（金）誕生日メニュー ・ 31日（水）内科健診 	
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2日（金）節分会 ・ 22日（木）誕生日メニュー 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 17日（土） 保護者懇談会（0歳児～5歳児）
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1日（金）ひなまつり会 ・ 6日（水）防犯訓練（5歳児） 不審者侵入訓練（全園児） ・ 8日（金）お別れ遠足（3, 4, 5歳児） ・ 22日（金）お別れ会・誕生日メニュー 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 16日（土）卒園式

◆ 毎月の行事

- ・ 発育測定
- ・ 避難消火訓練
- ・ 子育て支援
- ・ 保育参観（保育参加）

◆ 課内・外授業

- ・ 英会話教室
- ・ 体操教室

2023 年度 ブライト保育園福岡東比恵事業計画書

1 保育園の概要

(1) 所在地 福岡県福岡市博多区東比恵 2 丁目 12 番 39 号

(2) 定員 60 名

(3) 年齢別入所児童数（令和 6 年 3 月 31 日園児数）

	ゆめ (0 歳)	にじ (1 歳)	つき (2 歳)	ほし (3 歳)	そら (4 歳)	はな (5 歳)
定員	6	8	10	12	12	12
在籍数	8	9	12	14	14	13

(4) 職員数

- ・園長 1 名 ・主任 1 名 保育士 14 名 ・管理栄養士 1 名
- ・調理員 1 名
- ・嘱託医 2 名（内科 1 名・歯科 1 名） 計 20 名（令和 6 年 3 月 31 日現在）

(5) 事業年度 令和 5 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日

(6) 開園時間 午前 7 時 ～ 午後 8 時
(延長保育時間 午後 6 時～午後 8 時)

(7) 職員会議・その他会議について

(円滑に運営を行うにあたり会議を開催し、計画を持って行事等進める)

- ・定例職員会議（毎月） ・クラス会議（毎月 1 回） ・乳児・幼児会議（月 1 回）
- ・リーダー会議（需要に合わせて） ・給食会議（毎月）

(8) 研修会について（保育の質の向上、保育士としてのスキルアップ向上を目指す）

- ・各種団体の開催する研修会・研究会に参加
- ・救命救急、AED 講習受講、感染症予防講習会

(9) 小学校・行政機関との連絡協調

就学児童受け入れ校との連携を図るため近隣施設との交流強化の要望
幼保小連絡懇談会の実施

2 保育理念・方針・目標

【保育理念】子どもたちの「生きる力」（独り立ちし社会の中で生きていく力）の基盤づくりを支援する

【基本方針】アタマ・ココロ・カラダを育む三位一体興育（興味・体験・感動・気づき）

1. 子どもたちの興味を引き出すより多くの機会を提供する
2. 子どもの思いを受け止める
3. 子どもが自分で経験することを大切にする
4. 子どもが自分で考え工夫することを大切にする
5. 子どもが自分で気づくように言葉かけをする

【保育モットー】「つよく ゆたかに キラキラと」をモットーとしています。

「つよく」*我慢強さ、打たれ強さ、諦めない気持ち、負けない強さ（健全なる競争心）

*健康増進、健康な体づくり

*自分で考え、自分で行動する、常にプラス思考

「ゆたかに」*心の豊かさ、豊かなコミュニケーション、創造性の豊かさ、豊かな感性を育てる

「キラキラと」*ココロの輝き

*何か一つでも好きで夢中になれるものを見だし、探究心・持続力・集中力を養い、自分に対して自信を持って輝いている

3 今年度の運営目標、園目標

目指す保育：【子どもと共に育つ保育】

保育の「質」を高める園づくり

- 子ども主体を徹底して、いつも子どもを1番に！Kids First
- 自分自身を改善し続けていく
- 開園5年目～保育のアップデート～

●【子どものやりたいこと】に、必要不可欠な養護と教育をつなげる。

【子どものやりたいこと】を実現するためには、安心して生活できる環境づくりや健康管理などの生活に欠かせない取り組み（養護）と、例えばはさみの持ち方や数を指導する等の必要な学び活動（教育）が必要です。この2つは、それぞれをバラバラに考えるのではなく、子どものやりたいタイミングに合わせて行えば、子どもは無理なく、意欲的に身につけることができます。

【子どものやりたいこと】を遊び・生活の中心に据えて、必要な教育・養護はその遊びの中に取り組んでいくことで、子どもが自主的・主体的に取り組む姿勢が自然とできていくのではないのでしょうか。

春先は特に、安心・安全・安定につながる“環境づくり”を軸にし、6月以降より、子どものやりたいことを中心に必要な力を育てるように計画をしていく。

●子どもの姿から自分を学び、1人の人間としての自分を高めていく努力をする。

自分の保育実践や子どもの育ちの経過などを常に自分で振り返る反省的实践者であること、そして同僚と気軽に話し合い、意見を交換し合うような対話的实践者であることが大切だと思います。

“不適切保育”など保育者の資質が問われる根本的な問題は、子ども目線、寄り添う、子どもから学ぶという意識があれば生じないことだと考えます。

●保育をアップデートする

保育は毎年毎年積みあがっていくもので、その園の保育の歴史というものが積みあがっていきますそんな中、保育を続けていくとどうしてもその園の保育の仕方というものが固まってきます。

これは、すごく当然のことで、私たちは保育の在り方が定まってくることで「余裕」と「見通し」を持って保育に向かうことができます。しかし、その自分たちの保育の在り方、ふるまい方、そして軸だと思っていることを、ずっとずっとそのままにしておくと、いつしか凝り固まって、目の前の子ども達の変化に対応しきれないといったことも起こります。

時代の変化が激しい中、目の前の子ども達の変化とともに、残していきたいものは残しながら、柔軟に

アップデートしていくことが大切だと思います。

皆さんの中の【やりたいこと・やってみたかったこと】にチャレンジしてください。

5 その他の取り組み（行事計画）

(1) 保育関係

- ・園便り・保健便り・給食便り・行事手紙・クラス便りの保護者へネット配信し、行事内容を詳細に知らせる
- ・保育参観・クラス懇談会・個人懇談を実施し、保護者との連携を図る
- ・インターネット・ホームページによる行事のお知らせ等
- ・Facebookの見える化と参加型の導入
(Facebook利用者以外も閲覧できるよう園内に掲示。子どもと共に楽しく参加できるように「いいね」ステッカーを月1回導入。親子と楽しむ時間を提供しFacebookに興味をもってもらえるようにする)
- ・児童の健康管理とし、年2回内科検診・年1回歯科検診、毎月身体測定の実施
*2023年度年間行事予定は別紙参照

(2) 給食・食育

- ・安心・安全な食の提供の強化（誤飲・誤食を完全に防ぐ）
- ・食育として園全体でお箸の正しい使い方・食事マナーの導入
- ・食に関するPOP掲示を行い食への関心を広げる

(3) 職員体制、職員育成

- ・目標達成シート作成(自己の目標を達成するためにPDCAサイクルの習慣化を身につけさらに高いレベルのPDCAを回す(スパイラルアップ)を目指し、自己成長へと繋げる。

- ・園内情報、コミュニケーションの活性化

＊一部の事項を除き、全員が同じ情報（量）を持つ、共有する

(4) 安心・安全対策・防災関係

- ・安心安全保育を目指すうえで危険回避力スキルを上げるために危険予知力をつける。
- ・ヒヤリハットの活用により安全文化・安全教育の安心を目指した保育の実現。保育士全員の意識の向上強化。また、お散歩時の園外保育チェックリストの活用により安全に努める
- ・具体的な避難訓練の実施（子ども自身が身を守る訓練導入）
- ・不審者訓練実践実施（いろいろな場面を想定しながらおこなう）
- ・災害時、避難所への避難の仕方、避難食の確保、避難食提供リストマニュアルを全職員把握
- ・園独自の AED 講習会・エピペン講習会・S I D S 研修を開催し、全職員が対応できることを目指す

(5) ・地域交流

- ・地域小学校への訪問希望の申し入れ（小学校の見学等）
- ・短大および4年生大学保育および調理実習生、高校生との触れ合い等積極的な受け入れ
- ・町内会活動への積極的参加と地域貢献

< 園目標実現のために取り組んだこと、意識したこと >

- ◎ 不適切保育研修会として年間を通して、園内で研修会を行った。保育実践のみならずハラスメントやジェンダー問題、子どもの人権等、職員の視野が広がる内容を取り入れ、問題提起を行いながら深めることができた。また、職員の各人の価値観を擦り合わせを行うことで、身近な意見をたくさん聞くことができた。
- ◎ 子どもの発達について一つ一つの項目について丁寧に拾い上げながら全員で共有し、取り組む過程を大切にしながら、発達表の完成を目指した。
- ◎ 各リーダーの仕事や役割をより明確化したことで、リーダーとしての自覚がより芽生え、役割を果たせた。
- ◎ 園行事などの見直しや職員がやってみたいことに挑戦する機会がもてた。保育のアップデートの取り組みが一步前進した。

●年間スケジュール
(4月～9月)

月	行 事	保護者参加行事
4月	<ul style="list-style-type: none"> ● 発育測定 ● 避難訓練 ● 交通安全指導 (3・4・5歳児) ● 誕生会【4月生まれ】 ☆ 子育て支援<毎月第2金曜日>	
5月	<ul style="list-style-type: none"> ● こどもの日の会 ● 発育測定 ● 避難訓練 ● 交通安全指導 ● 誕生会【5月生まれ】 ☆ 子育て支援<毎月第2金曜日>	○ 保育参観
6月	<ul style="list-style-type: none"> ● 尿検査 (4歳児以上) ● 歯科健康診査 ● 発育測定 ● 避難訓練 ● 交通安全指導 ● 誕生会【6月生まれ】 ☆ 子育て支援<毎月第2金曜日>	○ 年齢別個人面談
7月	<ul style="list-style-type: none"> ● 夏祭り&作品展 (4日) ● 七夕祭り (7日) ● 水遊び開始 ● 発育測定 ● 避難訓練 ● 交通安全指導 ● 誕生会【7月生まれ】 ☆ 子育て支援<毎月第2金曜日>	
8月	<ul style="list-style-type: none"> ● プール遊び ● 発育測定 (頭囲・胸囲) ● 避難訓練 ● 交通安全指導 ● 誕生会【8月生まれ】 ☆ 子育て支援<毎月第2金曜日>	
9月	<ul style="list-style-type: none"> ● 園医による定期健康診断 ● 発育測定 ● 避難訓練 ● 交通安全指導 ● 誕生会【9月生まれ】 ☆ 子育て支援<毎月第2金曜日>	

(10月～3月)

月	行 事	保護者参加行事
10月	<ul style="list-style-type: none">● 衣替え● 発育測定● 交通安全指導● 誕生会【10月生まれ】 ☆ 子育て支援<毎月第2金曜日>	◎ 運動会
11月	<ul style="list-style-type: none">● 作品展● 秋の園外遠足【3・4・5歳児】● 発育測定● 避難訓練● 交通安全指導● 誕生会【11月生まれ】 ☆ 子育て支援<毎月第2金曜日>	
12月	<ul style="list-style-type: none">● クリスマス会● 発育測定● 避難訓練● 交通安全指導● 誕生会【12月生まれ】 ☆ 子育て支援<毎月第2金曜日>	◎ 生活発表会
1月	<ul style="list-style-type: none">● おめでとう会・もちつき(5日)● 発育測定● 避難訓練● 交通安全指導● 誕生会【1月生まれ】 ☆ 子育て支援<毎月2金曜日>	◎ 保育参観・クラス懇談会
2月	<ul style="list-style-type: none">● 節分(豆まき会)● お別れ遠足【3・4・5歳児】● 園医による定期健康診断● 発育測定(頭囲・胸囲)● 避難訓練● 交通安全指導● 誕生会【2月生まれ】 ☆ 子育て支援<毎月第2金曜日>	◎ 個人面談
3月	<ul style="list-style-type: none">● ひなまつり会● お別れ会● 発育測定● 避難訓練● 交通安全指導● 誕生会【3月生まれ】● 進級式 ☆ 子育て支援<毎月第2金曜日>	◎ 卒園式

2023年度ブライト保育園安城桜町事業報告書

保育理念・方針・目標

【保育理念】

子どもたちの「生きる力」（独り立ちし社会の中で生きていく力）の基盤づくりを支援する

【基本方針】

アタマ・ココロ・カラダを育む三位一体興育（興味・体験・感動・気づき）

1. 子どもたちの興味を引き出すより多くの機会を提供する
2. 子どもの思いを受け止める
3. 子どもが自分で経験することを大切にする
4. 子どもが自分で考え工夫することを大切にする
5. 子どもが自分で気づくように言葉かけをする

【保育モットー】

「つよく ゆたかに キラキラと」をモットーとしています

「つよく」*我慢強さ、打たれ強さ、諦めない気持ち、負けない強さ（健全なる競争心）

*健康増進、健康な体づくり

*自分で考え、自分で行動する、常にプラス思考

「ゆたかに」*心の豊かさ、豊かなコミュニケーション、創造性の豊かさ、豊かな感性を育てる

「キラキラと」*ココロの輝き

*何か一つでも好きで夢中になれるものを見いだし、探究心・持続力・集中力を養い、
自分に対して自信を持って輝いている

1・保育園の運営

定員 110名（認可定員130名）

(1) 園児数

	ゆめ (0歳)	にじ (1歳)	つき (2歳)	ほし (3歳)	ひかり (3歳)	そら (4歳)	はな (5歳)
定員	15	20	20	12	12	10	10
在籍数	9	16	22	13	13	24	23

(2) 職員数

- ・園長 1名
- ・保育士 15名
- ・栄養士 1名
- ・管理栄養士 2名
- ・非常勤フリー保育士 4名
- ・保育補助 3名
- ・委託医3名（内科 1名・歯科 1名・薬剤師 1名） 計27名（2024年3月現在）

(3) 職員会議・委員会活動等開催状況

- ・定例職員会議（毎月月末1回）実施クラス状況の報告
クラス運営の進み具合や悩み等を事前にまとめ話し合う場となり、情報共有することで、改善点など日々の保育に反映することができた
- ・発達や援助、不適切保育について話し合う時間を設けたことで共に学ぶ場ができた
- ・積極的に会議を開催し、定例会議・クラス会議・給食会議（毎月1回）実施。すべての会議で議事録をつけ複数担任クラスは同じ方向性で保育を進めることができた

- ・委員会活動の実施にて各担当活動が円滑に回るよう配慮することができた
- ・乳幼児リーダー会議の導入により、縦の繋がりや他クラスの悩み・保育の進め方について意見交換し、よりよく保育を進める為に話し合う時間を設けることができた

(4) 研修会の取り組み実施

(保育の質の向上、保育士としてのスキルアップ向上を目指す)

- ・各種団体の開催する研修会に意欲的な参加が見られ、ほとんどの職員がキャリアアップ研修へ参加し、保育士個々のスキルアップに繋げることができ、資格取得へと繋がった
園内職員間研修
- ・職員自らが研修講師となるヒヤリハット分析研修導入によるスキルアップ研修では自園に潜む危険個所に目を向け事前に改善しようとする力がついた

2. 重点的な取り組み実施

※自園の「目指すべき姿」

『乳幼児期という大切な時期に「あそび」の中で様々な体験・経験を通して、生きる力の基盤づくりを目指す。安心・安全な保育を進める中で関わるすべての人の「ハッピー」を追求し、子ども一人ひとりの思いを受け止め、自己肯定感を高め育みながら、誰からも愛される保育園』を目指す

※園目標：・「あそび」の中で体験や経験を通して生きる力の基盤づくりを目指す

- ・自己肯定感を高め育む保育
- ・安心安全な保育

※運営方針：「子ども中心保育」

「子ども中心」であることを保育の原則として捉え、子ども一人ひとりについて、人格を尊重し、生活や遊びを通して生きる力を育み、子どもの主体的な活動ができるよう環境を整え援助しながら保育者も環境の一部となり関わりを大切にする

2023年テーマ（園目標を達成する為に）

1. 「10の姿を通して巧緻性を活かした遊びの提供より保育の質の向上」
2. 「ヒヤリハット分析研修（危機管理能力のスキルアップと危険予測・察知能力のアップ）」導入
3. オープンマインドからのコミュニケーション」

★「10の姿を通して巧緻性を活かした遊びの提供により保育の質の向上」

- ・巧緻性玩具の充実を目指し、指先を使い様々な体験・経験の中で、物事に積極的に取り組む意欲や集中力、根気強さなど身につけ子ども達が主体的・自発的に遊びたくなる環境提供を心掛けた
10の姿を年案・月案・週案へと具体的に落とし込み、遊びのマナー化を防ぎ、室内遊び・戸外遊びへの充実化によって、遊びの幅を広げた保育ができた

★「ヒヤリハット分析研修（危機管理能力のスキルアップと危険予測・察知能力のアップ）」導入

- ・自園で起こりうるヒヤリハットや気づきを、研修講師としてどんな危険性が生じるか（危険予測）・どのように事故を事前に防ぐか（危険回避）を分析して学びあうことができたが、園全体への視野は広がったが、乳児クラスの発達と援助の理解が伴わず、小さな怪我が多く反省が残る

★「オープンマインドからのコミュニケーション」

- ・自分の意志や考えを発信しようとする職員の姿が見られた。また、他者の意見や考えをに耳を傾け傾聴する姿や、自己肯定感を高めようとする姿がみられた

※その他の取組み

1. すべてにおいて「安心安全保育」安全保障を目指す（子ども達・保護者ともに心の繋がりを大切にし、安心感を育くむ中で信頼関係を築くことができた
2. 自らの命の大切さや、命を守る知識をオリジナル安全教育教材導入にて学び、環境問題にも着目し子ども達とできることから一緒に取組み SDGs についてつたえることができた
3. 「安全安心対策会議」導入にて自園に潜む見落としがちな安全対策に気づき改善できた
4. 全職員へ自園のスタイルの理解と浸透性を目指す。自園独自の職員組織図にてサポート力の強化により相談しやすい環境提供を目指し、リーダーが抱える仕事量改善と効率化へと繋げることができたが、主任の役割が明確にならず次年度の課題となった
5. 事故訓練の継続にて保育の中で起こりうる事故や怪我を予想し、対応方法を学ぶあうことで知識が増えた（主任・全体リーダー・給食リーダー）
6. AED・エピペン・心肺蘇生訓練実施導入

二人1組になって訓練内容に沿ってそれぞれの訓練の手順を確認し、緊急時に落ち着いて対応できることを目指し、AED 実践研修・エピペン研修・SIDS 研修を毎月意欲的に行い、積極的に参加し様々な事例を挙げながら対応できるよう強化ができた

3. 保育園運営

- ・全体的な計画の見直しと年間保育計画・月間保育計画・週間指導計画案・個別記録の I T C キッズリーにて書類管理を徹底し、マンネリ化を防ぎ、室内遊び・戸外遊びへの充実化により、遊びの幅を広げ保育の質の向上を目指した
- ・月案を見直し、年案に落とし込むことで月案作成を撤廃し、より年案を週案に落とし込むように改善した
- ・自園保育計画の見直しを強化し、成長発達に沿った保育の実施と年齢発達の縦の繋がりを意識し計画を進めることができた

4. 保育実施状況

(1) 保育時間

午前7時15分～午後8時

(2) 保育内容

- ・引き続き、園便り・保健便り・給食便り・行事手紙・クラス便りを登降園アプリキッズリーにて保護者へ配信し行事内容を詳細に知らせた
- ・保育参観・クラス懇談会・個人懇談・様々な行事を実施し、保護者と子育ての情報共有を図り、連携を図り子どもの育ちへと繋げた
- ・インターネット・ホームページによる行事のお知らせ等
- ・園内絵本コーナー『ブライトフォレスト（絵本の森）』の維持と管理。子ども達が自由に絵本に触れ、絵本に親しみが持てる環境の提供ができた
- ・Facebookにて保育の見える化を引き続き継続し、園内に投稿を知らせる札を掲示した
- ・登降園管理アプリキッズリーにて全クラス保育活動を毎日配信にて日々の保育の見える化を行った
- ・児童の健康管理とし、年2回内科検診・年1回歯科検診、毎月身体測定・乳児クラス月2回定年齢乳児検診の実施をした
- ・引き続き幼児クラスにて体操教室・リトミックの実施を行い、子ども達に体を動かす楽しさや英語教育に興味関心を広げることができた
- ・幼児クラス向けの体操教室・英会話教室NOVAの課外レッスンにてレッスン時の環境を見直し、安全にレッスンが進められるよう各教室講師と安全対策強化の話し合いを行い、実施へと繋げる

ことができた。また、年長児対象の平仮名教室「もじ・すうじラボ」の導入をおこなった

- ・保育の質を高め、信頼され開かれた保育園づくりを実現するために年間1回園評価に関する保護者アンケート実施にて保育の質の向上に努めた
- ・保育士の自己評価導入にて日々の保育の振り返りを行い、集計結果をホームページにて掲載し、自己の振り返りを行う時間を設けた

*2023年度年間行事予定は別紙参照

※外部講師の指導状況

指導内容	指導回数
体操教室	火曜日 年間 20 日
リトミック	水曜日 年間 18 回
英語教室	木曜日 年間 30 回
もじ・すうじラボ	月曜日・水曜日 年間半期 40 回

(3)・給食・食育実施状況

- ・一年間で様々な体験や経験ができるよう野菜栽培活動・お箸の使い方・マナー・クッキング体験など食育の強化を図り各年齢にあった食育の提供をおこなうことができた
- ・乳児クラスは視覚・聴覚・触覚・味覚・嗅覚の五感を使った食育活動を通して食への関心へと繋ぐことができた
- ・給食配膳、配膳マニュアル完全導入による安心・安全な食の提供の強化にて、誤飲・誤食を完全に防ぎ、事故訓練内容に落とし込み全職員が再確認を行うことができた
- ・触れて楽しむPOP掲示を行い、食材に関する知識なども掲示に取り入れていくことで食への興味を引き出すことができた
- ・季節の行事に合わせた食育イベントの導入により、硝子張り調理室前を利用したおやつ調理実演を実際に子ども達に見せながらランチを楽しむワンプレート DAY の食育イベント導入により、作ることへの興味・関心へと繋げ、子ども達が主体的に参加する姿が多くみられた
- ・誕生会や季節のメニューでは子ども達が喜ぶ四季と文化を五感で感じられるような工夫を取り入れた。また、卒園児向けのスペシャルメニュー提供では給食職員による UberEATS 配達にてイベントを提供し子ども達にとって保育園給食の忘れられない思い出作りなどの工夫を行った
- ・食物アレルギー児への対応の強化を図り、保護者・保育士・栄養士の3者で連携を徹底した。毎月献立とアレルギー確認書を用いて保護者面談を行い、誤食ゼロで1年間終えることができた
- ・大きな事故や誤食はなかったがヒヤリハットで上がってく内容が多く、人的なミスを未然に防ぐよう意識強化の必要性を感じた

(4) 職員体制、職員育成

- ・運営方針「子ども中心保育」であることを保育の原則として捉え、子ども一人ひとりの人格を尊重し、生活や遊びを通して生きる力を育み、子どもの主体的な活動ができるよう環境を整え援助しながら保育者も環境の一部となり関わるよう心掛けた
- ・全園児を全職員で育て、縦と横のつながりを持ちながらクラス運営を進め、園全体が一つになり協調・協同し同じ方向性で進められよう軌道修正をしっかりとこなった
- ・各委員会の年間計画を作成し、計画に基づき1年間の活動を明確に進め、協力しながら行事運営をおこなうことができた
- ・アシスタントリーダーによる新入職者へのサポート強化を目指し、働きやすい環境を提供し、不安

感を取り除き働きやすい環境の提供に心掛けた

- ・保育補助雇上げにて保育士の仕事量の削減へと繋げ円滑に園が回るようになった

・健康管理の実施状況

1：児童

- ・年2回内科検診の実施（5月、10月）
- ・6月歯科検診の実施
- ・6月幼児クラス対象検尿
- ・毎月身体測定の実施を行い保護者へ報告
- ・乳児クラスは月2回低月齢児検診の実施

2：職員

- ・定期健康診断（年1回全職員対象に実施）
- ・検便（月1回赤痢・サルモネラ菌・病原性大腸菌検査の実施）
- ・インフルエンザ予防接種の実施

(5)・避難訓練・不審者訓練・安心・安全対策・防災関係実施状況

- ・自らの命の大切さや、命を守る知識をオリジナル安全教育教材導入にて学び、環境問題に着目し子ども達とできるSDGsを伝え一緒に取り組むことができた
- ・すべてにおいて「安心安全保育」安全保障を目指し、子ども達・保護者ともに心の繋がりを大切に、安心感を育くむ中で信頼関係を築くことができた
- ・「安全安心対策会議」導入にて自園に潜む見落としがちな安全対策に気づき改善しながら園の安全環境の徹底に心掛けた
- ・園外散歩マップの年間見直し・作成により危険個所を事前に把握し、園外保育活動時には交通ルールを学ぶなどさまざまな経験を通して、安全文化・安全教育の強化取り組みを行うことができた
- ・全クラス完全うつ伏せ寝禁止の徹底とSIDSチェックの徹底とSIDSチェックシートの改善をし、済聖会午睡マニュアルの浸透の強化をおこなった
- ・避難訓練を通して、命の守り方を知り、実際に災害が起きた時に備えて保育時間内で知識を学び合う時間を設け関心を高めることができた
- ・様々な災害時を想定し、避難場所への避難の仕方をリアルに体験できるよう訓練の見直し強化を行った。また、防災倉庫内管理を計画書作成にて毎月行うことで非常食期限切れを未然に防ぐことへと繋がった

(6)・地域交流

- ・地域老人会「高砂会」との敬老会での交流実施により、ギャラクシーホールにて高砂会会合に参加し、交流を図ることができた
- ・年長児就学前訪問として、地域小学校との交流実施。小学校内の見学にて、実際に授業の様子や学校校内の見学、小学校先生との交流を図り、就学への期待感を高めることができた
- ・保育士の保育園実習の受け入れを年2回実施することができ、学生との交流の機会となった
- ・年間2回子育て支援情報誌発刊にて自園の保育理念や実際の保育の様子を伝えることで子育てのヒントとなるように発信することができた
- ・年長児毎月地域図書館アンフォーレにて絵本の貸し出しにて絵本に触れる機会を多くつくり、地域の方たちと共同の場で過ごし、社会のルールを学ぶことができた

2023●年間スケジュール(4月～10月)

月	行事	保護者参加行事
4月	1日(土)～8日(土) 希望保育 3日(月)～7日(金)・慣らし保育 10日(月) 始業式 19日(水) 避難訓練 26日(水) 誕生会	1日(土) 入園式
5月	9日(火) 避難訓練 17日(水) 不審者対策訓練 25日(木) 誕生会 24日(水) 内科健診	20日(土) 保育参観(3～5歳児) 個人懇談会 0歳 5/29(月) 30(火)
6月	1日(木) 衣替え 6日(火) 避難訓練 21日(水) 誕生会 14日(水) 歯科検診	個人懇談会 1歳 5/31(水)～6/1(木) 2歳 6/5(月)～6(火) 9日(金) 親子遠足(3～5歳児) ※0～2歳は通常保育
7月	3日(月) プール開き 4歳午睡開始 7日(金) 七夕会・誕生会 19日(水) 避難訓練 28日(金) 夏イベント保育(年長児)	体操参観 7/11日(火)・18日(火)
8月	7/31日(月)～4日(金) 安城七夕作品展 3日(木) 避難訓練 12日(土)～19日(土) 希望保育 23日(水) 誕生会 30日(水) 敬老会 31日(木) プール納め 4歳午睡終了	
9月	1日(金) 総合避難訓練 28日(木) 誕生会 20日(水) 内科検診	16日(土) 乳児運動会(保育参観) (0～2歳児)
10月	2日(月) 衣替え 11日(水) 避難訓練 24日(火) 不審者対策訓練 26日(木) 誕生会	6日(金) 引き渡し訓練 7日(土) 幼児運動会(3～5歳児) (雨天予備日 14日)
11月	1日(水) 避難訓練 28日(火) 誕生会	個人懇談会 3歳 6日(月)～8日(水) 個人懇談会 4歳 13日(月)～15日(水) 個人懇談会 5歳 20日(月)～22日(水) リトミック参観 11/8日(水)・15日(水)
12月	2日(土) 避難訓練 4日(月)～7日(木) 正月飾り作り(幼児) 14日(木) クリスマス会・誕生会 20日(水)～28日(木) 希望保育 29日(金)～31日(日) 年末休園	楽器遊び会 11日(月)～13日(水) (乳児発表会)
1月	1日(月)～3日(水) 年始休園 4日(木)～6日(土) 希望保育 11日(木) 誕生会 30日(火) 避難訓練	27日(土) 幼児生活発表会
2月	2日(金) 節分 8日(木) 誕生会 21日(水) 不審者対策訓練 27日(火) 総合避難訓練	
3月	6日(水) 避難訓練 7日(木) お別れ会・誕生会 23日(土)～30日(土) 希望保育	22日(金) 卒園式

※日程変更・追加がある場合は園だよりにて知らせる

※太字記載行事は日程が決まり次第、園便りにて知らせる

令和5年度ブライト保育園名古屋一社事業報告書

1. 保育理念・方針・目標

【保育理念】

子どもたちの「生きる力」の基盤づくりを支援する

【基本方針】

アタマ・ココロ・カラダを育む三位一体興育(興味・体験・感動・気づき)

- (1) 子どもたちの興味を引き出す、より多くの機会を提供する
- (2) 子どもの思いを受け止める
- (3) 子どもが自分で経験することを大切にする
- (4) 子どもが自分で気づくように言葉かけをする

【保育モットー】

「つよく ゆたかに キラキラと」

自発的な活動を通してあきらめない気持ちや我慢強さ、しなやかで豊かな心を育て、子どもの「やりたい」という意欲を大事に存分に保障していく。

子どもたち一人ひとりの生活リズムを大切にそれぞれのリズムを大切に、それぞれの発達に合わせて援助し、自分に対して自信を持って輝いていけるよう良い姿をたくさん伸ばしていく

【園目標】

- ・子どもの思いに寄り添った保育をしよう
- ・子どものつぶやき、心の動きを見逃さないようにしよう
- ・初心の心を忘れず、柔軟性を持とう

【内容】

・子どもが主体的となって関わる中で、子どもたちが今、何に興味があるかをアンテナを張りながら読み取っていった。「おもしろそう」「やってみたい」と感じて始まる遊びを尊重した。その中で子どもの思いを大切にして、一人ひとりの思いも尊重する声かけをしていった。

2 園児数・保育士

(1)定数 60名

(2)年齢別入園児数(令和5年3月1日)

	ゆめ (0歳)	にじ (1歳)	つき (2歳)	ほし (3歳)	そら (4歳)	はな (5歳)
定数	6	12	12	10	10	10
在籍数	5	12	11	12	12	11

(3) 職員数

- ・園長1名 ・主任1名 ・保育士9名 ・パート保育士3 調理(栄養士)2名
- ・保育従事者2名 ・委託医2名(内科1名・歯科1名) 計18名(育休1名)

3 保育運営

- ・全体の計画、年間保育計画、月案、週案を合わせ、職員で理解を深めて保育につなげていった。
- ・各クラス保育室の環境設定を期ごとで話し合いながら、保育をつなげられるようにした。

4 研修会(職員の質の向上)・職員会

- ・研修テーマを提起しそのテーマに基づいてグループで話し合い、日々の保育に活かしていくことができた。
- ・定例職員会議(毎月)定例会では、職員が1つずつ疑問や保育についての話を提起し、みんなで話し合い、考えることができた。
- ・クラス会議(毎月) ・給食会議(毎月)
- ・研修会・研究会に積極的に参加

5 行事計画

- ・園だより、保健だより、給食だより、クラスだより、行事だよりなど、行事内容を詳細に知らせた。
- ・保育参観、個人懇談を実施した
- ・体操教室 年24回 英語教室 年33回行った

6 給食・食育

- ・誕生会・季節メニューなどの行事食を取り入れることができた
- ・自分の食べられる量を自分で決め、伝えることができるようにした

- ・安心、安全な食の提供の強化(誤飲、誤食を防ぐ)
- ・食に関する提示を行い、食への関心を広げる
- ・子どもの食の様子などを把握するため、栄養士が給食時に各クラスに入り食事の知る
- ・人気メニューレシピの公開した
- ・子どもたちからどんなものを作りたいか聞き、実現した。
- ・ケーキコンテストを開催し、楽しんでクッキングに携わることができた。

7 健康管理

園児・・・小児科 年2回(10月・3月) 園委託医による健康診断
 歯科 年1回(6月) 園委託医による歯科検診
 ※ 毎月 身体測定を実施

職員・・・定期健康診断

検便(月1回) 赤痢菌・サルモネラ菌・O-157・ノロウイルス
 インフルエンザ予防接種(10月)

8 安心・安全対策・防災関係

- ・ヒヤリハットの活用により安全・安全教育の安心を目指した保育の実現
 ヒヤリハットの見直し、職員で共有し、今後の改善に活かすことができた
- ・散歩時のチェックリストの活用により安全に努める
 散歩マップの作成に取り掛かった。
- ・具体的な避難訓練の実施
 いつ、どんな場面においても、落ち着いて避難できるか、いろいろな状況で実施した。
- ・地震が起きたときどうするか?の絵本を作成し普段から子ども自身が身を守る術を知る
- ・不審者訓練実践実施 いろいろな場面を想定しながら行った。
- ・災害時、避難所への避難の仕方、避難食提供リストマニュアルを全職員把握
 非常食の見直しをした。
- ・園内でのAED講習会・エピペン講習を開催し、全職員が対応できることを目指す
 怪我や事故、色々な場面を想定し、看護師が中心となり、練習した。

【ブライツ保育園大阪歌島 2023 年度事業報告書】

1. 保育園の概要

(1) 所在地 大阪府大阪市西淀川区歌島 4-4-23

(2) 定員 認可定員 72 名
利用定員 60 名

(3) 年齢別入所児童数 (2024 年 3 月 31 日在籍数)

	ゆめ 0歳児	にじ 1歳児	つき 2歳児	ほし 3歳児	そら 4歳児	はな 5歳児
認可定員	6	12	12	14	14	14
利用定員	3	7	12	12	14	12
在籍数	3	10	12	11	14	13

(4) 職員数

- ・園長 1名 ・保育士 10名 (内 2名育休中)
 - ・管理栄養士 1名 ・栄養士 1名 ・非常勤保育士 4名
 - ・非常勤子育て支援員 1名 ・調理員 1名 ・調理補助 1名
 - ・嘱託医 2名 (内科 1名・歯科 1名)
- 計 22名 (2024年3月31日現在)

(5) 事業年度 2023年(令和5年)4月1日~2024年(令和6年)3月31日

(6) 開園時間 7時~19時 (延長保育 18時~19時)

(7) 職員会議・その他会議について

- ・職員会議 (毎月)
- ・カリキュラム会議 (年齢ごと毎月)
- ・給食会議 (毎月)
- ・クラス会議 (随時)
- ・リーダー会議 (随時)
- ・行事担当者会議 (随時)
- ・昼礼 (毎週金曜日)

(8) 研修について

- ・大阪市福島区・西淀川区合同研修会への参加
- ・救命救急講習受講 (消防署職員より)

- 済聖会アカデミー受講
- キャリアアップ研修への参加
- 法人主催の保育勉強会に参加

(9) 小学校・行政機関との連絡協調

- 要対協との連絡、小学校との連絡、申し送り
- 保護者の要望による子育て支援課との接続、連携

2. 保育理念・方針・目標

【保育理念】子どもたちの「生きる力」(独り立ちし社会の中で生きていく力)の基礎作りを支援する

【基本方針】アタマ・ココロ・カラダを育む三位一体興育(興味・体験・感動・気づき)

- 1) 子どもたちの興味を引き出す、より多くの機会を提供する
- 2) 子どもの思いを受けとめる
- 3) 子どもが自分で経験することを大切にする
- 4) 子どもが自分で考え工夫することを大切にする

【保育モットー】「つよく ゆたかに キラキラと」

「つよく」・我慢強さ、打たれ強さ、諦めない気持ち、負けない強さ
(健全なる競争心)

- 健康増進、健康な体づくり
- 自分で考え、自分で行動する、常にプラス思考

「ゆたかに」・心の豊かさ、豊かなコミュニケーション、創造性の豊かさ、豊かな感性

「キラキラと」・ココロの輝き

- 何か一つでも好きで夢中になれるものを見いだし、探求心・持続力・集中力を養い、自分に対して自信を持って輝いている

3. 保育園運営

【園目標】

- 子ども一人ひとりに愛情を注ぎ、気持ちを受け止め、様々な活動を通して発達を支援していく
- 保護者の気持ちや考えを理解し、信頼関係を基に保護者の自己決定を

尊重する

- 日々の保育の中で、職員間で声を掛け合い、伝え合うことで子どもにとってより良い保育をしていく

【園目標実現のために取り組んだこと】

- 子どもの発達や関心に合わせたおもちゃを選定し、室内環境を整えることで集中して遊び込めるように努めた。
- 子どもたちが持っている力を発揮し、意欲的に活動に取り組めるような保育内容を考え実践し、振り返ることで、次に活かせるようにした。
- 子ども一人ひとりの成長・発達に合わせた関わりを心がけた。
- 保護者と積極的にコミュニケーションを取ることで信頼関係を築き、登降園時などに保育の相談に乗ったり、子どもの様子を伝えるように努めた。
- 会議や話し合いの時間を多く持つことで、職員同士が連携して日々の保育や行事を行えるようにした。

4. 年間行事

月	行事	保護者参加行事
4月	• 身体計測 • 避難訓練 • 内科健診	• 入園式
5月	• こどもの日の集い→各クラスで実施 • 身体計測 • 避難訓練 • 内科健診 • 遠足（3・4・5歳児）	• クラス懇談会（0・1・2歳児）
6月	• 歯科検診 • 身体計測 • 不審者対策訓練 • 避難訓練 • 内科健診	• 保育参観（3・4・5歳児）
7月	• 七夕の集い→各クラスで実施 • 身体計測 • プール開き • 避難訓練 • 内科健診	

8月	<ul style="list-style-type: none"> ・身体計測 ・避難訓練 ・プール閉まい ・内科健診 	
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・身体計測 ・避難訓練 ・内科健診 ・引き渡し訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・キラキラの会→プレゼント（ペン立て）を作成し、各家庭よりおじいちゃん、おばあちゃんにプレゼントを渡す
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会（2・3・4・5歳児） ・身体計測 ・避難訓練→消防署職員にご指導いただく ・内科健診 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会（2・3・4・5歳児）は、歌島小学校体育館をお借りして実施
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・遠足（3・4・5歳児）→2・3歳児-御幣島東公園、4・5歳児-キッズプラザ、扇町公園 ・身体計測 ・不審者対策訓練 ・勤労感謝の日→警察、消防署、郵便局、給食職員納品業者へ日頃の感謝を伝え、手作りのプレゼントを渡す ・避難訓練→地震から津波発生の想定でグリコへ避難する ・内科健診 	
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・身体計測 ・避難訓練 ・クリスマス会→各クラスで実施 ・内科健診 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育参観（3・4・5歳児）
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・お正月遊びの日→各クラスで実施 ・身体計測 ・避難訓練 	
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・節分の集い→各クラスで実施 ・不審者対策訓練 ・身体計測 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活発表会（2・3・4・5歳児）

	<ul style="list-style-type: none"> • 誕生会 • 避難訓練 • 内科健診 	
3月	<ul style="list-style-type: none"> • ひな祭りのつどい→各クラスで実施 • お別れ遠足→5歳児-大阪城公園 • 身体計測 • お別れ会 • 内科健診 • 避難訓練 	<ul style="list-style-type: none"> • 卒園式

- 個人懇談（随時）